

令和7年度
私たちの生活と
“よさん”



豊見城市

目 次

目	次	1
事業別一覧表		2
予算規模		9
一般会計予算内訳		10

I 令和7年度歳入予算の状況

市税について	12
--------	----

II 令和7年度歳出予算の状況

政策1 子どもが生きる夢と希望にみちたまち	13
政策2 健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまち	37
政策3 活気ある豊かなまち	56
政策4 環境に優しい住みよいまち	61
政策5 安全安心な協働のまち	80

資料編

市の財政状況

予算の動き（当初予算額）	92
財政力・経常収支比率	94
公債費・実質公債費比率	95
市債残高・基金の動き	96
市が単独で交付している補助金	97

● 政策1 子どもが活きる事と希望にみちたまち

事業 番号	事業名	担当部署	令和7年度予算(万円)	頁
1	グローバル人材育成事業	こども応援課	882	13
2	こども未来市民事業	こども応援課	263	13
3	ひとり親家庭等放課後児童クラブ利用料助成事業	こども応援課	1,039	13
4	放課後児童クラブ賃借料補助事業	こども応援課	1,157	14
5	豊見城市こども計画策定委託業務	新規 こども応援課	741	14
6	沖縄子供の貧困緊急対策事業	子育て支援課	8,670	14
7	地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	2,695	15
8	ファミリーサポートセンター事業	子育て支援課	438	15
9	乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)	新規 子育て支援課	12	15
10	認可外保育施設給食事業	保育こども園課	1,028	16
11	公立型幼保連携型認定こども園(上田こども園)給食事業	保育こども園課	3,173	16
12	発達支援保育事業	保育こども園課	24,757	16
13	子育て支援員研修事業	新規 保育こども園課	118	17
14	情報補助員派遣事業(小学校、中学校)	教育指導課	1,583	17
15	電子黒板整備事業(小学校、中学校)	教育指導課	3,795	17
16	公立学校情報機器整備事業(中学校)	新規 教育指導課	15,038	18
17	教育支援体制整備事業	教育総務課	4,178	18
18	育英会事業(学資の給付)	教育総務課	569	18
19	学校給食費会計の公会計化	学校教育課	663	19
20	豊見城市立学校給食センター調理等委託業務	学校教育課	16,759	19
21	学校給食費保護者支援事業	学校教育課	14,485	19
22	要保護、準要保護児童生徒及び特別支援学級児童生徒への援助	学校教育課	9,050	20
23	小・中学校生徒派遣事業	学校教育課	303	20
24	豊見城市学力強化支援事業(受験対策講座)	学校教育課	1,335	20
25	小学校 指導書・教師用教科書購入事業	学校教育課	335	21
26	中学校 指導書・教師用教科書購入事業	学校教育課	1,595	21
27	理科備品整備事業	学校教育課	700	21
28	小中学校特別支援教育支援員配置事業	教育指導課	11,864	22
29	こどもサポート教室の充実	教育指導課	844	22
30	登校支援員配置事業	教育指導課	2,156	22

● 政策1 子どもが活きる事と希望にみちたまち

事業 番号	事業名	担当部署	令和7年度予算(万円)	頁
31	小学校外国語(英語)活動の充実	教育指導課	3,505	23
32	スクールソーシャルワーカー配置事業	教育指導課	1,181	23
33	学習支援補助員配置事業	教育指導課	827	23
34	学力向上サポート事業	教育指導課	4,153	24
35	中学校英語教育の充実	教育指導課	2,078	24
36	こころの教室相談員	教育指導課	295	24
37	英語キャンプ事業	教育指導課	30	25
38	市学力到達度調査	教育指導課	568	25
39	学級実態調査(Q-Uテスト)	教育指導課	640	25
40	校内自立支援事業	教育指導課	833	26
41	中学校における部活動指導員の配置支援事業	教育指導課	1,009	26
42	学校運営協議会設置事業	教育指導課	300	26
43	スクールロイヤー	教育指導課	66	27
44	中学校英語検定試験等補助事業	教育指導課	395	27
45	伊良波中学校長寿命化事業	新規 学校施設課	9,735	27
46	体育館・武道場天井等落下防止対策事業	学校施設課	3,623	28
47	市内学校空調設備更新等事業	新規 学校施設課	387	28
48	小中学校長寿命化事業(単独事業)	学校施設課	6,289	28
49	市内学校プール環境整備事業	新規 学校施設課	979	29
50	豊見城市青少年国際交流事業	生涯学習振興課	1,512	29
51	ジュニアリーダー県外研修	生涯学習振興課	72	29
52	姉妹都市交流	生涯学習振興課	510	30
53	青少年の平和学習交流	生涯学習振興課	88	30
54	全沖縄子どもエイサーまつり	生涯学習振興課	73	30
55	地域学校協働活動推進事業	生涯学習振興課	494	31
56	放課後子ども教室推進事業	生涯学習振興課	501	31
57	生涯学習フェスティバル	生涯学習振興課	55	31
58	公民館講座	生涯学習振興課	119	32
59	児童生徒等派遣費補助事業	生涯学習振興課	1,094	32
60	フットサルサッカーキャンプ受入れ	生涯学習振興課	1,430	32

● 政策1 子どもが活きる事と希望にみちたまち

事業 番号	事業名	担当部署	令和7年度予算(万円)	頁
61	社会教育活動のための各種団体の育成	生涯学習振興課	339	33
62	中央図書館30周年事業	新規 文化課	55	34
63	図書購入事業	文化課	850	34
64	電子図書館事業	文化課	336	34
65	市史の編集	文化課	1,216	35
66	デジタル博物館事業	文化課	4,525	35
67	埋蔵文化財確認調査事業	文化課	1,000	35
68	歴史民俗資料展示室の運営	文化課	115	36
69	文化協会への運営補助	文化課	139	36

● 政策2 健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまち

事業 番号	事業名	担当部署	令和7年度予算(万円)	頁
70	国民健康保険事業	国民健康保険課	714.031	37
71	後期高齢者医療保険(特別会計分)	国民健康保険課	81.296	38
72	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	国民健康保険課	1,640	38
73	社会福祉協議会の運営補助	社会福祉課	6,884	38
74	戦没者等遺族特別弔慰金事業	社会福祉課	709	39
75	生活困窮者自立支援事業	社会福祉課	3,962	39
76	生活保護費	保護課	187,356	39
77	沖縄県介護保険広域連合負担金	障がい長寿課	70,225	40
78	高齢者への祝金の支給	障がい長寿課	310	40
79	老人クラブの運営補助など	障がい長寿課	236	41
80	地域支援事業	障がい長寿課	20,138	41
81	自立支援療養介護医療給付費	障がい長寿課	1,175	43
82	障害児通所給付費の支給	障がい長寿課	116,818	43
83	育成・更生医療費の給付	障がい長寿課	13,522	43
84	障害支援区分認定訪問調査事業	障がい長寿課	2,074	44
85	特別障害者(児)手当の給付	障がい長寿課	5,116	44
86	補装具の給付(修理)	障がい長寿課	1,172	44
87	地域生活支援事業	障がい長寿課	5,662	45
88	障害福祉サービス費の支給	障がい長寿課	164,895	46

● 政策2 健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまち

事業 番号	事業名	担当部署	令和7年度予算(万円)	頁
89	女性相談員活動強化事業	子育て支援課	948	46
90	乳幼児の健康診査	子育て支援課	2,153	46
91	妊産婦健診事業	子育て支援課	8,795	47
92	子育て世代包括支援センター運営事業	子育て支援課	2,072	47
93	伴走型相談支援及び出産子育て応援給付金の 一体的実施事業	子育て支援課	550	48
94	妊婦のための支援給付事業	新規 子育て支援課	5,551	48
95	妊婦等包括相談支援事業	新規 子育て支援課	583	48
96	食育推進事業	子育て支援課	109	49
97	先進医療不妊治療費助成事業	新規 子育て支援課	27	49
98	小児の予防接種	子育て支援課	20,731	50
99	こどもへの医療費助成	こども応援課	37,693	51
100	成人の予防接種	健康推進課	8,937	51
101	特定健康診査等事業	健康推進課	2,949	51
102	保健事業	健康推進課	3,864	52
103	骨髄等移植ドナー助成事業	健康推進課	14	52
104	健康増進事業	健康推進課	1,241	52
105	健康診査事業	健康推進課	5,397	53
106	食育推進事業	健康推進課	150	53
107	がん患者アピアランスケア支援事業	健康推進課	60	53
108	特定健診インセンティブ付与事業	健康推進課	325	54
109	男女共同参画社会の推進	協働のまち推進課	33	54
110	シルバー人材センターの運営補助	商工観光課	1,250	54
111	商工会の運営補助	商工観光課	920	55

● 政策3 元気ある豊かなまち

事業 番号	事業名	担当部署	令和7年度予算(万円)	頁
112	第39回とみぐすく祭り・第10回とみぐすく産業フェスタ	商工観光課	2,400	56
113	豊見城市観光PR事業	商工観光課	414	56
114	豊見城市観光協会補助金	商工観光課	1,845	56
115	豊見城市産業振興計画策定事業	商工観光課	896	57
116	お仕事体験事業	商工観光課	407	57

● 政策3 活気ある豊かなまち

事業番号	事業名	担当部署	令和7年度予算(万円)	頁
117	豊見城市創業支援等事業者補助金	商工観光課	398	57
118	観光振興地域環境美化強化事業	道路課	787	58
119	豊見城市優良母牛導入支援事業	農林水産課	660	58
120	漁業再生の支援	農林水産課	517	58
121	耐候性園芸施設整備事業	農林水産課	5,800	59
122	豊見城農業振興地域整備計画策定事業	新規 農林水産課	878	59
123	文化観光創出事業	公園緑地課	850	59
124	豊見城市観光施設環境美化強化事業	公園緑地課	3,077	60

● 政策4 環境に優しい住みよいまち

事業番号	事業名	担当部署	令和7年度予算(万円)	頁
125	「まちの顔」旧IT産業振興センター周辺地区整備事業	管財課	93,730	61
126	公営墓地事業(特別会計)	環境課	2,243	61
127	漫湖水鳥・湿地センターの運営補助	環境課	575	61
128	自動車騒音常時監視等業務	環境課	285	62
129	ごみ収集事業	環境課	71,522	62
130	資源物の収集とリサイクル	環境課	1,270	62
131	犬や猫などの衛生対策	環境課	247	63
132	不法投棄対策	環境課	24	63
133	ごみの減量化対策	環境課	87	63
134	豊見城市総合交通戦略推進等支援事業	都市計画課	740	64
135	字豊見城地区街なみ環境整備事業	都市計画課	605	64
136	改良住宅長寿命化計画整備事業	都市計画課	15,525	64
137	都市計画マスタープラン改定業務	都市計画課	1,231	65
138	住宅リフォーム支援事業	都市計画課	187	65
139	新たな公共交通システム導入検討調査事業	都市計画課	2,228	65
140	中心市街地土地区画整理事業	市街地整備課	1,728	66
141	下原排水路浚渫・清掃等整備事業	農林水産課	2,000	66
142	渡嘉敷土地改良排水路改修事業	農林水産課	1,677	66
143	地方改善施設整備事業	道路課	2,500	67
144	豊見城市道維持管理委託業務	新規 道路課	3,000	67

● 政策4 環境に優しい住みよいまち

事業 番号	事業名	担当部署	令和7年度予算(万円)	頁
145	道路の新築と改良	道路課	50.156	68
146	都市公園安全・安心対策事業	公園緑地課	3.000	77
147	長嶺城址総合公園整備事業	公園緑地課	18.500	77
148	水道事業	水道総務課、水道課	241.176	78
149	下水道事業	水道総務課、下水道課	239.938	79

● 政策5 安全安心な協働のまち

事業 番号	事業名	担当部署	令和7年度予算(万円)	頁
150	豊見城市防災情報システム機能強化整備事業	総務課	723	80
151	市町村支援事業〔市町村特定処理〕	総務課	773	80
152	給与関係事務業務委託	人事課	2.255	80
153	人事評価制度支援業務	人事課	100	81
154	特別職の給与など	人事課	23.054	81
155	職員の給与など	人事課	354.626	81
156	職員研修の実施	人事課	205	82
157	標準準拠システム移行事業	デジタル推進課	13.980	83
158	庁舎内ネットワーク機器の運用保守及び更新事業	デジタル推進課	621	83
159	豊見城市生成AIサービス運用業務	デジタル推進課	71	83
160	企業版ふるさと納税推進業務	商工観光課	22	84
161	国勢調査 新規	企画調整課	3.906	84
162	第5次豊見城市総合計画後期基本計画及び(仮称)豊見城市デジタル田園都市構想総合戦略策定支援業務 新規	企画調整課	1.535	84
163	証明書コンビニ交付システム更新業務	市民課	1.338	85
164	戸籍事務システム標準化に係る事業	市民課	2.909	85
165	窓口等業務委託	市民課、総務課 国民健康保険課	8.047	85
166	国民年金事務	市民課	887	86
167	沖縄県消防通信指令施設事業	消防総務課	1.198	86
168	沖縄県消防指令センター全体更新整備事業	消防総務課	14.031	86
169	全国瞬時警報システム整備事業 新規	消防総務課	352	87
170	消防水利設置事業	消防本部警防課	1.172	87
171	災害対応ドローン整備事業 新規	消防本部警防課	364	87
172	救急安心センター事業	消防本部警防課	43	88

● 政策5 安全安心な協働のまち

事業 番号	事業名	担当部署	令和7年度予算(万円)	頁
173	防火意識の啓発	消防本部予防課	55	88
174	自治会活動の推進	協働のまち推進課	1,513	88
175	「広報とみぐすく」の発行	秘書広報課	2,302	89
176	豊見城市広報番組の放送委託	秘書広報課	86	89
177	収納OCRデータ処理委託業務	納税課 他3課	690	89
178	コンビニエンスストア収納代行委託料	納税課	567	90
179	議会インターネット映像配信事業	議会事務局	162	90
180	会議録の作成及び公表	議会事務局	486	90
181	「議会だより」の発行	議会事務局	670	91

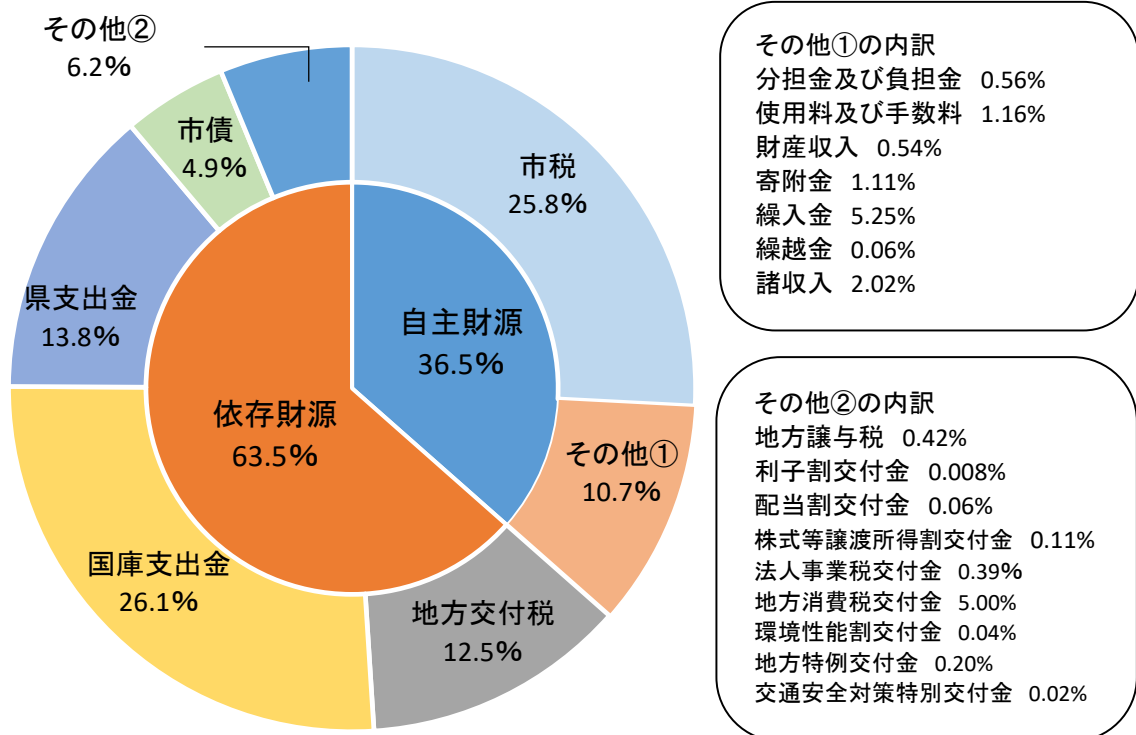
令和7年度 予算規模

各会計の予算額

会計名			令和7年度 当初予算額	令和6年度 当初予算額	比較	増減率
一般会計			328億1,100万円	301億4,000万円	26億7,100万円	8.86%
特別 会計	国民健康保険特別会計		71億4,032万円	72億3,645万円	-9,613万円	△1.33%
	後期高齢者医療特別会計		8億1,295万円	7億443万円	1億852万円	15.41%
	育英会特別会計		—	724万円	-724万円	皆減
	公営墓地事業特別会計		2,243万円	962万円	1,281万円	133.16%
公営 企業 会計	水道事業会計	収益的会計	18億2,471万円	17億8,119万円	4,352万円	2.44%
		資本的会計	5億8,705万円	5億3,485万円	5,220万円	9.76%
	下水道事業会計	収益的会計	11億4,326万円	10億4,653万円	9,673万円	9.24%
		資本的会計	12億5,612万円	13億2,824万円	-7,212万円	△5.43%
合計			455億9,784万円	427億8,855万円	28億929万円	

※ 表示単位末端は端数処理により表示しているため、各項目の計と内訳が一致しないことがあります。

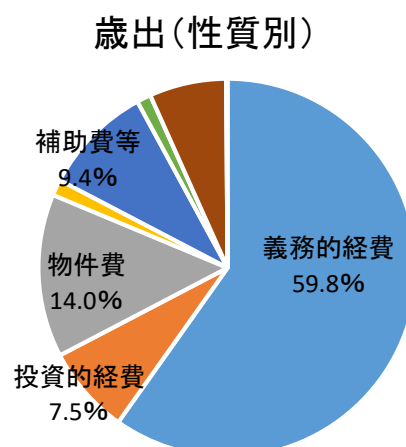
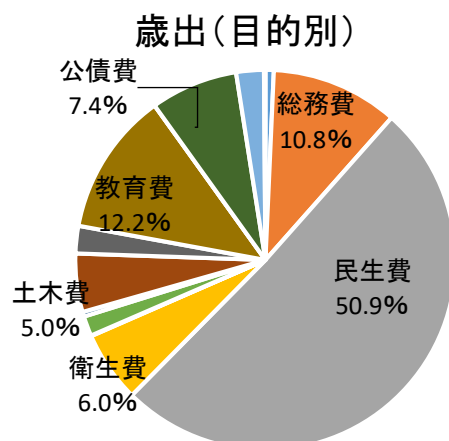
一般会計歳入予算 328億1,100万円



単位:千円

予算科目名称	令和7年度	令和6年度	比較	増減率
1 市 税	8,472,786	7,512,202	960,584	12.8%
2 地方譲与税	137,337	130,030	7,307	5.6%
3 利子割交付金	2,649	1,380	1,269	92.0%
4 配当割交付金	18,388	17,545	843	4.8%
5 株式等譲渡所得割交付金	35,388	19,549	15,839	81.0%
6 法人事業税交付金	128,081	110,077	18,004	16.4%
7 地方消費税交付金	1,640,888	1,415,071	225,817	16.0%
8 環境性能割交付金	13,508	14,712	△1,204	△8.2%
9 地方特例交付金	64,967	336,219	△271,252	△80.7%
10 地方交付税	4,090,010	4,139,766	△49,756	△1.2%
11 交通安全対策特別交付金	7,000	7,000	0	0.0%
12 分担金及び負担金	182,761	186,170	△3,409	△1.8%
13 使用料及び手数料	379,529	381,062	△1,533	△0.4%
14 国庫支出金	8,565,045	7,563,640	1,001,405	13.2%
15 県支出金	4,515,508	4,055,226	460,282	11.4%
16 財産収入	177,719	106,193	71,526	67.4%
17 寄 附 金	363,631	572,283	△208,652	△36.5%
18 繰 入 金	1,722,232	1,958,054	△235,822	△12.0%
19 繰 越 金	20,000	20,000	0	0.0%
20 諸 収 入	662,873	596,846	66,027	11.1%
21 市 債	1,610,700	996,975	613,725	61.6%
歳入合計	32,811,000	30,140,000	2,671,000	8.9%

一般会計歳出予算 328億1,100万円



一般会計予算事項別明細 歳出(目的別)

単位:千円

予算科目名称	令和7年度	令和6年度	比較	増減率	構成比
1 議会費	231,459	225,777	5,682	2.5%	0.7
2 総務費	3,556,379	2,688,009	868,370	32.3%	10.8
3 民生費	16,686,141	15,372,623	1,313,518	8.5%	50.9
4 衛生費	1,982,007	1,936,004	46,003	2.4%	6.0
5 労働費	17,050	17,170	△120	△0.7%	0.1
6 農林水産業費	556,139	286,069	270,070	94.4%	1.7
7 商工費	132,138	140,669	△8,531	△6.1%	0.4
8 土木費	1,627,124	1,703,692	△76,568	△4.5%	5.0
9 消防費	765,597	747,938	17,659	2.4%	2.3
10 教育費	4,006,185	3,752,737	253,448	6.8%	12.2
11 災害復旧費	4	4	0	0.0%	0.0
12 公債費	2,438,074	2,288,611	149,463	6.5%	7.4
13 諸支出金	772,703	940,697	△167,994	△17.9%	2.4
14 予備費	40,000	40,000	0	0.0%	0.1
歳出合計	32,811,000	30,140,000	2,671,000	8.9%	100.0

一般会計予算事項別明細 歳出(性質別)

単位:千円

予算科目名称	令和7年度	令和6年度	比較	増減率	構成比
1 義務的経費	19,621,483	18,153,155	1,468,328	8.1%	59.8
2 投資的経費	2,473,139	1,822,395	650,744	35.7%	7.5
3 物件費	4,580,648	4,134,110	446,538	10.8%	14.0
4 維持補修費	447,744	333,523	114,221	34.2%	1.4
5 補助費等	3,093,942	3,056,867	37,075	1.2%	9.4
6 積立金	397,138	595,155	△198,017	△33.3%	1.2
7 投資及び出資・貸付金	36	36	0	0.0%	0.0
8 繰出金	2,156,870	2,004,759	152,111	7.6%	6.6
9 予備費	40,000	40,000	0	0.0%	0.1
歳出合計	32,811,000	30,140,000	2,671,000	8.9%	100.0

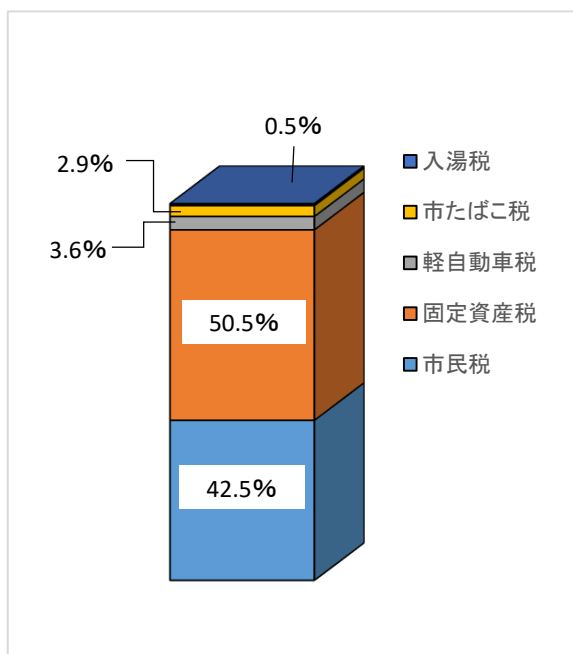
市税について(収入)

市税

R7年度:84億7,279万円

R6年度:75億1,220万円

市税とは、法律や条例の決まりにより、市民や企業から納めていただいているもので、市の収入の中心となるものです。本市では、収入のうち市税が約26%を占めており、市民が健康で快適な暮らしをするためには欠かせない貴重な財源となっています。



入湯税

天然温泉への入湯に対して係る税金

R7年度:4,111万円 R6年度:3,345万円

市たばこ税

市内で販売されるたばこに対して係る税金

R7年度:2億4,460万円 R6年度:2億4,429万円

軽自動車税

バイク、軽自動車等の所有者に係る税金

R7年度:3億39万円 R6年度:2億8,611万円

固定資産税

土地、建物や償却資産の所有者に係る税金

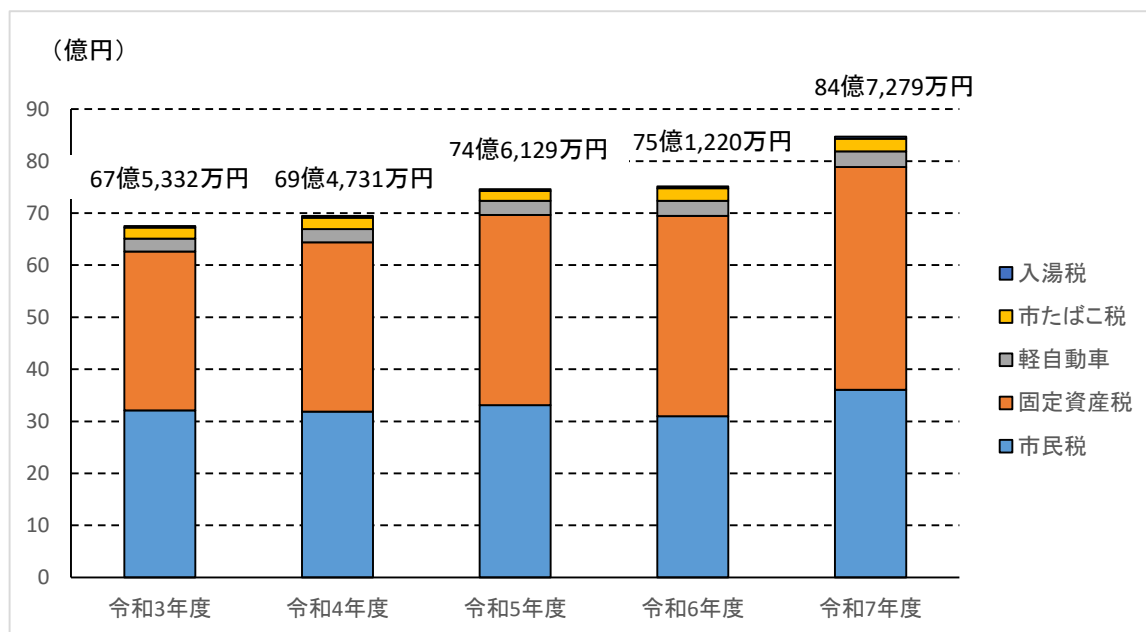
R7年度:42億8,250万円 R6年度:38億5,132万円

市民税

個人:個人の前年の所得に対して係る税金

法人:会社などの所得に対して係る税金

R7年度:36億419万円 R6年度:30億9,703万円



1 子どもが活きる夢と希望にみちたまち

1

継続

・グローバル人材育成事業(こども応援課)

R7年度 882万円 (財源:その他 882万円)

R6年度 1,112万円

何のために？

企業版ふるさと納税を活用し、グローバルに活躍できる人材の育成を行います。

2

継続

・こども未来市民事業(こども応援課)

R7年度 263万円 (財源:市 43万円、その他220万円)

R6年度 51万円

何のために？

小学生がSDGsの達成に向けた意見交換やアイデアの発表を行う国連を支えるこども未来会議の開催や、親と子が健やかに暮らすことができる切れ目のない子育て環境の充実を図るため、こども未来アンケート調査やこども未来基金の周知活動を行います。

3

継続

・ひとり親家庭等放課後児童クラブ利用料助成事業(こども応援課)

R7年度 1,039万円 (財源:県 779万円、市 260万円)

R6年度 1,032万円

何のために？

ひとり親家庭等へ放課後児童クラブの利用料を減免した児童クラブに対し、補助を行うことで、ひとり親家庭等の生活安定と就労の促進を図ります。

1 子どもが活きる夢と希望にみちたまち

4

継続

・放課後児童クラブ賃借料補助事業(こども応援課)

R7年度 1,157万円 (財源:県1,041万円、市116万円)

R6年度 1,216万円

何のために？

民間施設を利用し運営している児童クラブに対して、利用者負担に転嫁している賃借料の支援を行うことで、保護者の負担軽減を図ります。

5

新規

・豊見城市こども計画策定委託業務(こども応援課)

R7年度 741万円 (財源:国150万円、市591万円)

R6年度 —

何のために？

令和5年4月に施行された「こども基本法」に基づき、こども施策を総合的かつ強力に推進するために、「市こども計画」を策定します。

6

継続

・沖縄子供の貧困緊急対策事業(子育て支援課)

R7年度 8,670万円
(財源:国 6,924万円、市 1,746万円)

R6年度 9,602万円

何のために？

子供の居場所づくりや、相談支援員の配置など、貧困家庭にある子供の福祉の増進に資することを目的とした事業に補助します。



1 子どもが活きる夢と希望にみちたまち

7

継続

・地域子育て支援拠点事業(子育て支援課)

R7年度 2,695万円 (財源:国 817万円、県 817万円、市 1,061万円)

R6年度 2,569万円

何のために？

在宅で育児をしている親子(主に3歳未満)に相互交流の場を提供したり、育児相談等を実施し、子育ての孤立感や負担感の解消を図る事業です。

8

継続

・ファミリーサポート・センター事業(子育て支援課)

R7年度 438万円 (財源:国 146万円、県 146万円、市 146万円)

R6年度 383万円

何のために？

安心して子育てができるように、子育ての援助をして欲しい人(「おねがい会員」)と、子育てを援助したい人(「まかせて会員」)が、互いに地域の中で助け合いながら子育てをする相互援助活動を支援する事業です。

9

新規

・乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)(子育て支援課)

R7年度 12万円 (財源:国 9万円、市 3万円)

R6年度 —

何のために？

全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対して、保護者の多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化していきます。

1 子どもが活きる夢と希望にみちたまち

10

継続

・認可外保育施設給食事業(保育こども園課)

R7年度 1.028万円 (財源:県 822万円、市 206万円)

R6年度 2.087万円

何のために？

認可外保育施設の保育の質向上のため、給食業務に伴う負担軽減を図り、子どもを見る時間を増やすことで、より良い保育の提供を図ります。

11

継続

・公立型幼保連携型認定こども園(上田こども園)給食事業(保育こども園課)

R7年度 3.173万円 (財源:市 2.143万円、その他1.030万円)

R6年度 2.492万円

何のために？

園児が健やかに成長することができ、園児の保護者が安心して子育てができる環境を構築します。

12

継続

・発達支援保育事業(保育こども園課)

R7年度 2億4,757万円 (財源:県 1億7,487万円、市 7,270万円)

R6年度 1億7,954万円

何のために？

・支援を必要とする子を預かる施設を対象に、保護者が安心して預けることのできる環境の整備を行うため、公立保育所・認定こども園においては加配保育士を配置します。

・市内法人立認可保育園等においては、加配保育士等の人数に応じた補助金を交付します。
※R6年度まで加配保育士等1人当たり月額15万円であった補助基準額を、R7年度から18万円に増額して交付します。

1 子どもが活きる夢と希望にみちたまち

13

新規

- ・子育て支援員研修事業（保育こども園課）

R7年度 118万円 （財源：国58万円、市60万円）

R6年度 —

何のために？

保育所等において、子育て支援の担い手となる人材を確保することを目的に、子育て支援員研修事業を実施します。

14

継続

- ・情報補助員派遣事業（小学校、中学校）（教育指導課）

R7年度 1583万円 （財源：国1,045万円、市538万円）

R6年度 1,282万円

何のために？

情報社会に対応できる人材を育成するため、情報教育指導補助員を配置し、コンピュータを利用した授業の充実強化を図り、ICTリテラシーの向上を図ります。

15

継続

- ・電子黒板整備事業（小学校、中学校）（教育指導課）

R7年度 3,795万円 （財源：国3,036万円、市759万円）

R6年度 5,730万円

何のために？

各学校に電子黒板等のICT機器やネットワーク環境(アクセスポイント設置)を整備し、わかりやすい授業を展開します。

1 子どもが活きる夢と希望にみちたまち

16

新規

- ・公立学校情報機器整備事業（中学校）（教育指導課）

R7年度 1億5,038万円（財源：国10,025万円、市503万円、その他4,510万円）

R6年度 —

何のために？

令和2年度に整備した児童生徒一人一台の端末を更新し、一人ひとりに最適化した学びを提供します。

17

継続

- ・教育支援体制整備事業（教育総務課）

R7年度 4,178万円
（財源：県3,089万円、市1,089万円）

R6年度 3,552万円

何のために？

教職員の業務負担を軽減し、教材研究や児童生徒と向き合う時間を確保するため、スクール・サポート・スタッフを配置します。

18

継続

- ・育英会事業（学資の給付）（教育総務課）

R7年度 569万円
（財源：その他 569万円）

R6年度 724万円

何のために？

向学心のある学生で、経済的理由により修学困難な者（生活保護世帯）へ学資を給付します。

1 子どもが活きる夢と希望にみちたまち

19

継続

・学校給食費会計の公会計化(学校教育課)

R7年度 663万円 (財源:市 663万円)

R6年度 662万円

何のために？

令和4年度より、各学校を中心に管理していた学校給食費を、豊見城市が市の予算として管理することになりました。口座振替手数料などを市で負担するほか、納付書の発送などに必要な経費を計上しています。

20

継続

・豊見城市立学校給食センター調理等委託業務
(学校教育課)

R7年度 1億6,759万円
(財源:市 1億6,759万円)

R6年度 1億6,759万円

何のために？

調理業務・配缶の配送及び回収業務・使用した食器具の洗浄消毒作業などを民間業者に委託しています。民間事業者の技術力や専門性を活用することで、学校給食の安全性及び安定性を確保します。



21

継続

・学校給食費保護者支援事業(学校教育課)

R7年度 1億4,485万円
(財源:国 1億4,485万円)

R6年度 8,778万円

何のために？

学校給食の栄養価の充足率を満たすことを目的に、必要な金額との差額分をこども未来基金から支援することで、保護者の負担を増やすことなく栄養価の充足を図ります。令和7年度については、国の重点支援地方創生臨時交付金を活用し、学校給食費の保護者負担の軽減を図ります。



1 子どもが活きる夢と希望にみちたまち

22

継続

・要保護、準要保護児童生徒及び特別支援学級児童生徒への援助(学校教育課)

R7年度 9,050万円 (財源:国 335万円、県 1,143万円、市 7,572万円)

R6年度 8,534万円

何のために？

経済的に困窮している世帯へ児童生徒の教育費(給食費等)を援助します。

23

継続

・小・中学校生徒派遣事業(学校教育課)

R7年度 303万円 (財源:県 136万円、市 167万円)

R6年度 957万円

何のために？

市立中学校の部活動(スポーツ・文化)における県外・離島の大会派遣費用の一部について補助を行います。

24

継続

・豊見城市学力強化支援事業(受験対策講座)(学校教育課)

R7年度 1,335万円 (財源:その他 1,335万円)

R6年度 —

何のために？

各中学校において苦手分野の克服と、志望校合格へ向けた受験対策を講じ、受験に対する不安を払拭します。

1 子どもが活きる夢と希望にみちたまち

25

継続

・小学校 指導書・教師用教科書購入事業(学校教育課)

R7年度 335万円 (財源:市335万円)

R6年度 3,156万円

何のために？

小学校教科書の採択替え及びクラス数増に伴い、指導書及び教師用教科書を購入します。

26

継続

・中学校 指導書・教師用教科書購入事業(学校教育課)

R7年度 1,595万円 (財源:市1,595万円)

R6年度 15万円

何のために？

中学校教科書の採択替えに伴い、指導書及び教師用教科書を購入します。

27

継続

・理科備品整備事業(学校教育課)

R7年度 700万円 (財源:国525万円、市175万円)

R6年度 —

何のために？

市内小中学校で必要な理科、算数、数学の備品を整備し、視覚的・実践的事業を展開することで、興味・関心を引き出し学力向上を図ります。

1 子どもが活きる夢と希望にみちたまち

28

継続

・小中学校特別支援教育支援員配置事業(教育指導課)

R7年度 1億1,864万円 (財源:県 7,830万円、市 4,034万円)

R6年度 1億355万円

何のために？

特別に支援を要する児童生徒等に対して支援員を配置し、安全面・学習面において支援を行います。

29

継続

・こどもサポート教室の充実(教育指導課)

R7年度 844万円 (財源:県 557万円、市 287万円)

R6年度 713万円

何のために？

不登校の児童生徒を対象に学習支援や体験活動、相談活動等ができるこどもサポート教室に学習支援員を配置し、教育の充実を図ります。

30

継続

・登校支援員配置事業(教育指導課)

R7年度 2,156万円 (財源:県 1,117万円、市 576万円、その他463万円)

R6年度 1,445万円

何のために？

登校支援員を市内小学校8校に配置し、不登校や不登校傾向にある児童やその保護者の支援を充実させます。

1 子どもが活きる夢と希望にみちたまち

31

継続

・小学校外国語(英語)活動の充実(教育指導課)

R7年度 3,505万円 (財源:県 2,313万円、市 1,192万円)

R6年度 3,723万円

何のために？

国際化時代に対応できる人材の育成を目的として、小学校に日本人英語教師を配置します。

32

継続

・スクールソーシャルワーカー配置事業(教育指導課)

R7年度 1,181万円 (財源:県 780万円、市 401万円)

R6年度 1,045万円

何のために？

市内小中学校にスクールソーシャルワーカーを巡回配置し、問題を抱える児童生徒の環境改善のため、学校を軸とした関係機関とのネットワークを構築し連携を図ります。

33

継続

・学習支援補助員配置事業(教育指導課)

R7年度 827万円 (財源:県 546万円、市 281万円)

R6年度 713万円

何のために？

中学校における別室指導を要する生徒に対し、心のよいところになる居場所を提供すると共に、児童・生徒の状況に応じた教科指導を行う教師を補助するため「学習支援補助員」を配置します。

1 子どもが活きる夢と希望にみちたまち

34

継続

・学力向上サポート事業(教育指導課)

R7年度 4,153万円 (財源:県 2,741万円、市 1,412万円)

R6年度 4,278万円

何のために？

市内小中学校に学力向上推進補助員を配置し、学習の理解が遅れている児童生徒へきめ細やかな指導を行います。

35

継続

・中学校英語教育の充実(教育指導課)

R7年度 2,078万円 (財源:県 1,371万円、市 707万円)

R6年度 1,966万円

何のために？

生徒の英語力の向上を図るため、各中学校に外国人英語補助員を配置します。

36

継続

・こころの教室相談員(教育指導課)

R7年度 295万円 (財源:市 295万円)

R6年度 271万円

何のために？

生徒の悩み、不安、ストレスに対し、気軽に相談できる「こころの教室相談員」を各中学校に配置します。

1 子どもが活きる夢と希望にみちたまち

37

継続

・英語キャンプ事業(教育指導課)

R7年度 30万円 (財源:市 30万円)

R6年度 18万円

何のために？

児童生徒を対象に英会話のみの環境である英語キャンプを実施し、国際理解や英語力の向上を図ります。

38

継続

・市学力到達度調査(教育指導課)

R7年度 568万円 (財源:県454万円、市 114万円)

R6年度 565万円

何のために？

その学年における学習内容の定着度を確認し、今後の指導に生かすための「市学力到達度調査」を実施して、全国学力学習状況調査と連携した検証システムを構築します。

39

継続

・学級実態調査(Q-Uテスト)(教育指導課)

R7年度 640万円 (財源:市 640万円)

R6年度 541万円

何のために？

楽しい学校生活を送るためのアンケート(Q-Uテスト)において、学校生活における意欲や満足度、更には学級集団の状態を見える化することで、よりよい学級経営に生かすとともに、不登校やいじめ、意欲低下等の諸問題に対して早期に対応します。

1 子どもが活きる夢と希望にみちたまち

40

継続

・校内自立支援事業(教育指導課)

R7年度 833万円 (財源:県 830万円、市3万円)

R6年度 713万円

何のために？

不登校や不登校ではないが教室に入れない生徒の学級復帰を支援するための支援員を各中学校に配置します。

41

継続

・中学校における部活動指導員の配置支援事業(教育指導課)

R7年度 1,009万円 (財源:県596万円、市413万円)

R6年度 920万円

何のために？

学校教育活動の一層の充実と教員の働き方改革の実現を図ることを目的に、中学校において、教員に代わり部活動指導を行う部活動指導員を配置します。

42

継続

・学校運営協議会設置事業(教育指導課)

R7年度 300万円 (財源:市 300万円)

R6年度 300万円

何のために？

地域と学校が目標や課題を共有し、「地域とともにある学校づくり」を進めるため、保護者や地域住民等が参画する学校運営協議会を設置します。

1 子どもが活きる夢と希望にみちたまち

43

継続

・スクールロイヤー(教育指導課)

R7年度 66万円 (財源:市 66万円)

R6年度 66万円

何のために？

豊見城市立小学校及び中学校の教育活動、学校における法律助言指導、法的サービスの提供について学校に在籍する児童生徒の最善の利益を実現することを目的とします。

44

継続

・中学校英語検定試験等補助事業(教育指導課)

R7年度 395万円 (財源:その他 395万円)

R6年度 580万円

何のために？

英検等の資格取得を支援し、社会で活躍できるグローバル人材の育成を目指す環境を整備します。

45

新規

・伊良波中学校長寿命化事業(学校施設課)

R7年度 9,735万円
(財源:市 9,735万円)

R6年度 —



何のために？

伊良波中学校は、築39年以上経過しており、設備配管や内外装の経年劣化が見られることから、質的整備を含めた改修を実施し、学習環境の改善を図ります。

1 子どもが活きる夢と希望にみちたまち

46

継続

- ・ 体育館・武道場天井等落下防止対策事業（学校施設課）

R7年度 3,623万円

（財源：県 1,208万円 市 2,415万円（うち借金 2,410万円））

R6年度 1,373万円



何のために？

小中学校の体育館・武道場の天井や照明、バスケットゴールなどの耐震対策、落下防止対策を行います。

47

新規

- ・ 市内学校空調設備更新等事業（学校施設課）

R7年度 387万円

（財源：市 387万円（うち借金 290万円））

R6年度 —

何のために？

耐用年数を迎えた小中学校の空調設備を更新し学習環境の維持を図ります。

48

継続

- ・ 小中学校長寿命化事業（単独事業）（学校施設課）

R7年度 6,289万円

（財源：市 6,289万円（うち借金 6,280万円））

R6年度 6,005万円



何のために？

学校施設の老朽化対策を図り、子ども達の安全確保及び施設機能の健全化を図ります。

1 子どもが活きる夢と希望にみちたまち

49

新規

・市内学校プール環境整備事業（学校施設課）

R7年度 979万円
（財源：県 783万円 市 196万円（うち借金 190万円））
R6年度 —



何のために？

小中学校の屋外プールに日よけ設備の設置を行い熱中症対策や紫外線対策を行います。

50

継続

・豊見城市青少年国際交流事業（生涯学習振興課）

R7年度 1,512万円 （財源：県 1,131万円、市 283万円、その他 98万円）
R6年度 1,512万円

何のために？

青少年リーダーを海外に派遣し、教育・文化・歴史・産業等の視察学習や青少年団との国際交流及びホームステイ等の活動を通じ、国際的視野を広め、国際化時代に対応し、地域貢献に寄与しうる青少年の育成を図ります。

51

継続

・ジュニアリーダー県外研修（生涯学習振興課）

R7年度 72万円 （財源：市 72万円）
R6年度 71万円

何のために？

ジュニアリーダークラブに県外研修の経験を与え、協調性やリーダーとしての自覚を育て、活動の普及促進へ繋げることを目的としています。

1 子どもが活きる夢と希望にみちたまち

52

継続

・姉妹都市交流(生涯学習振興課)

R7年度 510万円

(財源:市 510万円)

R6年度 581万円

何のために？

子ども会、スポーツ少年団の青少年を派遣することで、人材育成や平和、文化、スポーツ交流を積極的に推進し、お互いに尊重する気持ちを育てると共に将来に渡って絆を深める事業です。

・戦時中の学童疎開を縁とした姉妹都市・・・宮崎県美郷町(旧北郷村)、高千穂町
・ジョン万次郎を機縁とした姉妹都市・・・高知県土佐清水市

○主な事業

子ども会の
姉妹都市交流

・宮崎県美郷町
受入:令和7年7月
派遣:令和7年8月

スポーツ少年団の
姉妹都市交流

・宮崎県高千穂町
派遣:令和7年8月
受入:令和7年8月

・高知県土佐清水市
受入:令和7年8月

53

継続

・青少年の平和学習交流(生涯学習振興課)

R7年度 88万円 (財源:市 88万円)

R6年度 49万円

何のために？

広島県大竹市と本市の中学生が平和の尊さ、文化、歴史などのついて学習するとともに交歓交流を行い友情を培います。

・交流期間 令和7年8月4日～7日(予定)(派遣)3泊4日

・参加対象 市内中学生10人・大竹市中学生10人(予定)



54

継続

・全沖縄子どもエイサーまつり(生涯学習振興課)

R7年度 73万円 (財源:市 73万円)

R6年度 73万円

何のために？

県内各地の子ども会の参加による「全沖縄子どもエイサーまつり」を開催します。地域の伝統芸能であるエイサーの継承発展を図ることを目的に子どもエイサーの演舞が行われます。

1 子どもが活きる夢と希望にみちたまち

55

継続

・地域学校協働活動推進事業(生涯学習振興課)

R7年度 494万円 (財源:県 324万円、市 170万円)

R6年度 467万円

何のために？

地域と学校が連携・協働して地域住民や企業、団体等の持つ多様な経験や技能を活用し地域全体の教育力の向上を図ります。

56

継続

・放課後子ども教室推進事業(生涯学習振興課)

R7年度 501万円 (財源:県 288万円、市 189万円、その他 24万円)

R6年度 495万円

何のために？

市内の小学校の余裕教室を活用し、地域の方々の協力を得て、交流活動や勉強、スポーツの取り組みを行い子ども達の健全育成を推進します。

57

継続

・生涯学習フェスティバル(生涯学習振興課)

R7年度 55万円 (財源:市 55万円)

R6年度 55万円

令和7年度の予定

【日時】 令和8年2月頃

【会場】 豊見城市立中央公民館

【内容】 舞台発表、展示、スポーツ体験等

何のために？

市民一人ひとりが、実践してきた生涯学習活動の成果の発表の場として、生涯学習フェスティバル実行委員会に補助します。

1 子どもが活きる夢と希望にみちたまち

58

継続

・公民館講座(生涯学習振興課)

R7年度 119万円 (財源:市 119万円)

R6年度 119万円

何のために？

教養講座や夏休みの児童・生徒向けの体験講座・自治会が主となる公民館移動講座を開講し、広く市民に生涯学習の機会を提供します。受講時期・受講者数・受講内容は、市広報にてお知らせします。

59

継続

・児童生徒等派遣費補助事業(生涯学習振興課)

R7年度 1,094万円 (財源:県 492万円、市602万円)

R6年度 1,094万円

何のために？

市内小中学生の学校外のクラブ活動(スポーツ・文化)における県外及び離島への大会派遣費用の一部について補助を行います。令和5年度より引率の指導者も補助対象となりました。

60

継続

・フロサッカーキャンプ受入れ
(生涯学習振興課)

R7年度 1,430万円
(財源:県 1,144万円、市 286万円)

R6年度 1,430万円

何のために？

フロサッカーキャンプ受入れに必要な芝生環境の実現を目指すべく、芝生の管理を行います。



1 子どもが活きる夢と希望にみちたまち

61

継続

・社会教育活動のための各種団体の育成(生涯学習振興課)

R7年度 339万円 (財源:市 339万円)

R6年度 309万円

何のために？

社会教育活動を推進するため、各種団体に補助を行います。

○主な事業

事業名	事業内容
子ども会育成連絡協議会補助金	様々な体験活動を通して、子ども達の自主性や主体性を養うことを目的に活動している子ども会に補助をします。
PTA連合会補助金	子ども達の健やかな成長のために保護者と教職員が活動しているPTA連合会に補助をします。
女性会補助金	女性の持つ豊かな知性と感性を組織活動に活かし、地域づくりに取り組んでいる女性会に補助をします。
青少年育成市民会議補助金	街頭指導などの活動を通して、青少年の健全育成に取り組んでいる青少年育成市民会議に補助をします。
ジュニアリーダー補助金	子ども会の運営指導やレクリエーション指導などの活動をしているジュニアリーダーに補助をします。
はたちの集い実行委員会補助金	成人年齢引き下げに伴い、成人式からはたちの集いに名称を変更し、式典の企画・運営に取り組む各中学校区はたちの集い実行委員会へ補助金を交付します。



1 子どもが活きる夢と希望にみちたまち

62 新規

・中央図書館30周年事業（文化課）

R7年度 55万円
（財源：市55万円）

R6年度 —



何のために？

市立中央図書館は平成8年3月に開館し、今年度30周年の節目を迎えます。開館以来、多くの市民の皆様にあいさつされ、魅力ある図書館運営に取り組んでまいりました。これを機に、これまでの中央図書館の歩みを振り返るとともに、市民の皆様と記念すべき年を祝い、より良いサービスの向上を目指し、新たな一歩を踏み出すための事業です。

63 継続

・図書購入事業（文化課）

R7年度 850万円
（財源：市850万円）

R6年度 850万円



何のために？

中央図書館では、市民の幼児期から高齢期にいたる各世代の幅広い自己教育の場として、図書館の資料の骨格となる基本図書、参考図書、郷土資料の収集に努めております。

64 継続

・電子図書館事業（文化課）

R7年度 336万円
（財源：市19万円、その他317万円）

R6年度 336万円



何のために？

中央図書館では、読書バリアフリー法及び障がい者差別解消法への対応及び来館困難者に対する対策を講じるため、電子図書館システムの運用を適切に行います。

1 子どもが活きる夢と希望にみちたまち

65 継続

・市史の編集(文化課)

R7年度 1,216万円
(財源:市1,126万円、その他90万円)
R6年度 1,183万円



何のために？

豊見城市における教育や文化・社会の歴史等を調査し、「社会と文化・教育」編を発刊します。市史の活用を目的にシンポジウム、企画展等を開催致します。

66 継続

・デジタル博物館事業(文化課)

R7年度 4,525万円
(財源:国3,510万円、市1,015万円)
R6年度 4,273万円



何のために？

歴史・文化に関わる資料の収集及びアナログ資料のデジタル化を行い、情報発信を強化するとともに、郷土学習や平和教育の質的向上、観光分野への寄与、アナログ資料の長寿命化が行える環境を整備します。

67 継続

・埋蔵文化財確認調査事業(文化課)

R7年度 1,000万円
(財源:国800万円、市200万円)
R6年度 1,034万円



何のために？

埋蔵文化財の範囲及び性格等を明らかにし、埋蔵文化財の適切な保護を行います。

1_子どもが活きる夢と希望にみちたまち

68

継続

・歴史民俗資料展示室の運営(文化課)

R7年度 115万円
(財源:市115万円)
R6年度 102万円

何のために？

市内全域から戦前・戦後の貴重な民俗・民具資料を収集し、公開しています。

- ・場 所: 中央図書館1階
- ・開館時間: 午前9時～午後5時
- ・休 館 日: 月曜日・祝祭日・年末年始



69

継続

・文化協会の運営補助(文化課)

R7年度 139万円
(財源:市139万円)
R6年度 139万円

何のために？

文化の向上と活性化を図ることを目的に活動している市文化協会に運営の補助を行います。



2 健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまち

70

継続

・国民健康保険事業(国民健康保険課)

何のために？

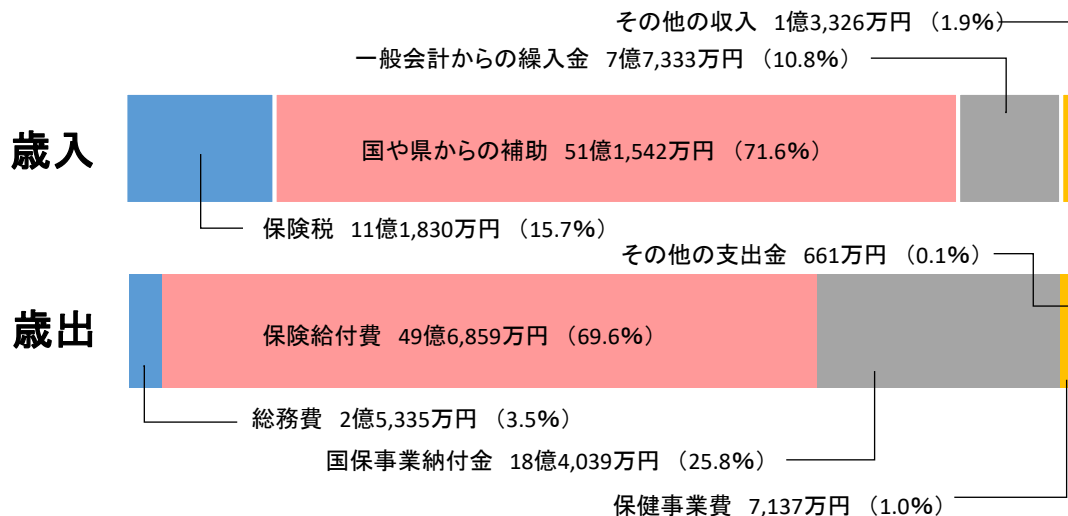
国民健康保険は、病気やケガをしたとき、安心して医療が受けられるよう、国民健康保険(国保)加入者の納める保険税と国や県、市などが負担する補助金を使って、医療費を負担する制度です。

なお、国民健康保険事業は、特別会計で運営されています。

※特定健康診査等(がん健診含む)を受けるには、受診券と資格確認書などが必要です。

沖縄県 国民健康保険 資格確認書		有効期限 令和 7年 7月 31日
記号	豊国	番号 00303352 (枝番) 01
氏名	豊見城 太郎	
生年月日	昭和47年 4月 2日	性別 男
適用開始年月日	令和 6年11月22日	
交付年月日	令和 6年12月 2日	
世帯主氏名	豊見城 太郎	
住所	沖縄県豊見城市宜保1丁目1番地1	
保険者番号	470294	豊見城市文印
交付者名	豊見城市	

・国民健康保険特別会計 R7 11億4,031万円(R6 12億3,645万円)(国民健康保険課)



給付事業

●医療費の支給(療養諸費) R7 41億4,780万円(R6 42億1,913万円)

病気やケガで診療を受けたとき、医療費の7割(就学前の人は8割、70歳以上の人は一般8割、現役並み所得者7割)を市が医療機関に支払います。

●高額療養費の支給(高額療養) R7 1億7,913万円(R6 1億5,749万円)

医療費の自己負担額が一定の額を超えたとき、その超えた分を申請に基づいて支給します。

●出産費用の支給(出産育児一時金) R7 2,750万円(R6 3,700万円)

子どもが生まれたときは、出産一時金として48.8万円を支給します。(産科医療補償制度に加入している場合は1.2万円を加算)

●葬祭費の支給 R7 210万円(R6 260万円)

国保加入者が死亡したとき、葬祭を行った人に葬祭費として2万円を支給します。

●医療費の通知(3回/年間) R7 221万円(R6 168万円)

国民健康保険事業に対する理解を深めてもらうため、医療機関で受診した医療費について通知します。

2 健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまち

71

継続

特別会計

・後期高齢者医療保険(特別会計分:国民健康保険課)

R7年度 8億1,296万円

(財源:保険料 6億5,507万円、繰入金 1億5,426万円、その他 363万円)

R6年度 7億444万円

何のために?

後期高齢者医療制度を運営するため、沖縄県後期高齢者医療広域連合が主体となつて、市町村との事務分担のもとに運営されています。

広域連合…被保険者資格の確認や保険料の賦課決定など
市町村…各種申請の受付や引き渡し、保険料の徴収など

※徴収した保険料を広域連合へ納付します。

72

継続

・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

(一般会計分:国民健康保険課・健康推進課・障がい長寿課)

R7年度 1,640万円 (財源:市 118万円、その他 1,522万円)

R6年度 1,511万円

何のために?

高齢者の保健事業と介護予防事業を一体的に行い、高齢期のフレイル予防や生活習慣病の重症化予防等を図り、健康寿命の延伸に努めます。

73

継続

・社会福祉協議会の運営補助(社会福祉課)

R7年度 6,884万円 (財源:市 6,884万円)

R6年度 6,013万円

何のために?

地域が抱える福祉問題を地域全体として解決を図ることを目的に設置された社会福祉協議会の運営に補助を行います。

2 健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまち

74

継続

・戦没者等遺族特別弔慰金事業(社会福祉課)

R7年度 709万円 (財源:県 46万円、市 663万円)

R6年度 303万円

何のために？

戦後80周年を迎えるにあたり、国より戦没者遺族等へ特別弔慰金を支給します。

75

継続

・生活困窮者自立支援事業(社会福祉課)

R7年度 3,962万円 (財源:国 1,965万円、市 1,997万円)

R6年度 3,479万円

何のために？

生活の自立に向けた相談及びサポート、家賃の援助や関係機関との就労支援を実施し、生活困窮者の状況に応じた包括的な支援を行います。

76

継続

・生活保護費(保護課)

R7年度 18億7,356万円 (財源:国 14億5,117万円、県 2,964万円、市 4億3,875万円)

R6年度 18億3,619万円

何のために？

生活保護受給者に対し、その困窮の程度に応じ必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長します。

2 健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまち

77

継続

・沖縄県介護保険広域連合負担金(障がい長寿課)

R7年度 7億225万円 (財源:国 354万円、市 6億9,871万円)

R6年度 6億5,721万円

何のために？

介護保険制度は、40歳以上の被保険者が納める保険料と、国・都道府県・市町村からの公費(税金)を財源として、介護や支援が必要となった被保険者に介護サービスの提供や、地域支援事業を実施します。

本市は、平成15年度から沖縄県介護保険広域連合へ加入していることから、運営や給付等にかかる本市分を負担します。

78

継続

・高齢者への祝金の支給(障がい長寿課)

R7年度 310万円 (財源:市 310万円)

R6年度 306万円

何のために？

高齢者の長寿を祝福し、長年の功労をたたえるため、トーカー千(米寿)、カジマヤー、100歳以上の高齢者に祝金を贈呈します。

2 健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまち

79

継続

・老人クラブの運営補助など(障がい長寿課)

R7年度 236万円 (財源:県 36万円、市200万円)

R6年度 241万円

何のために？

高齢者の社会参加の促進のため、高齢者自らの生きがいづくりや健康づくりを進めるサークル活動、ボランティア活動など地域を豊かにする活動をしている老人クラブに補助を行います。

事業名	事業費や事業内容
市老人クラブ補助金	生きがいや健康づくりに資するため、老人クラブ活動に補助を行います。
市老人クラブ連合会補助金	市老人クラブ連合会の運営にかかる補助を行います。
南部地区老人クラブ連合会活動推進員設置負担金	南部地区老人クラブ連合会活動にかかる本市分の経費を負担します。

80

継続

・地域支援事業(障がい長寿課)

R7年度 2億138万円
(財源:沖縄県介護保険広域連合 2億61万円、その他77万円)

R6年度 2億4,286万円

何のために？

65歳以上の方が、介護が必要な状態になることを予防するとともに、介護が必要な状態となった場合においても、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援するために、地域支援事業を行います。

事業名	事業概要
短期集中予防サービス事業	入院等で生活機能の低下した高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるようリハビリ専門職によるトレーニングを行います。
地域包括ケア推進協議会	地域包括支援センターの円滑な運営を行うために地域包括ケア推進協議会を開催します。

2 健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまち

・地域支援事業(障がい長寿課)の続き

事業名	事業概要
成年後見制度利用支援事業	判断能力が不十分な認知症高齢者等で、親族等がいない、またはこれらの方においても音信不通の状況等にある方に対し、成年後見制度市長申立や後見人等の報酬助成等を行います。
認知症総合支援事業	認知症への理解を深めるための普及・啓発を行います。
訪問家事援助事業	在宅で過ごす高齢者に対し、掃除や洗濯、買い物等の日常生活支援を実施するため、支援員の派遣を行います。
「食」の自立支援 (配食サービス)	調理・調達の困難な一人暮らしの高齢者等へ食事を配達し、栄養改善と安否確認を行います。
転倒骨折予防教室(骨コツ貯 筋運動教室)	理学療法士等による運動機能訓練及び生活指導教室を開催し、転倒骨折による要介護状態に陥らないための予防及び加齢に伴う運動機能の低下を予防します。また、参加者同士の交流を図り、閉じこもりを防止します。
地域ミニデイサービス事業	地域の公民館へレク指導員を派遣し、血圧測定や健康相談、体操やレクリエーション等を行い、高齢者の身体機能の低下を防ぎ、社会参加の促進を図ります。
脳がんじゅう教室	パソコンを使ったタイピング操作を通じて、認知症予防を図ります。また、参加者同士の交流を図り、閉じこもりを防止します。
介護用品支給	在宅の要介護4・5で非課税世帯の方へ紙おむつなどの介護用品を支給します。
健康料理教室	栄養不足による要介護状態に陥ることを防ぐため、料理を通して食生活改善と健康増進、高齢者の生活の質の向上を図ります。また、社会参加の促進を図ります。
介護予防トレーニング教室	健康運動指導士等によるトレーニングマシンを活用した運動教室と自重トレーニング教室を開催し、介護予防に関する普及啓発を行います。
介護予防教室(個別)	運動施設を3ヶ月間通い放題で、利用者のライフスタイルに合わせた利用が可能です。他の介護予防教室は日程が合わずに参加ができなかった方向けの事業です。
住民主体の通いの場支援	通いの場において、介護予防・フレイル予防に効果のある運動等を参加者が自主的に継続実施できることを目的に、導入時の支援のみならず、必要に応じ専門職が関与を行います。
緊急時の通報サービス	急病や事故などの緊急事態を知らせるため「緊急通報システム装置」を設置します。

2 健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまち

81

継続

・自立支援療養介護医療給付費(障がい長寿課)

R7年度 1,175万円 (財源:国 587万円、県 294万円、市 294万円)

R6年度 1,033万円

何のために？

主に昼間において病院で行われる機能訓練、療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護及び日常生活の世話を行うこと(療養介護)のうち、医療に要した費用を支給します。

対象となる者: 医療的ケアを必要とする障害のある方のうち常に介護を必要とする者

82

継続

・障害児通所給付費の支給(障がい長寿課)

R7年度 11億6,818万円
(財源:国 5億8,409万円、県 2億9,204万円、市 2億9,205万円)

R6年度 11億8,405万円

何のために？

児童発達支援、放課後等デイサービス、医療型児童発達支援、保育所等訪問支援などの在宅サービスの費用の一部を障害児通所給付費として支給します。

83

継続

・育成・更生医療費の給付(障がい長寿課)

R7年度 1億3,522万円 (財源:国 6,761万円、県 3,380万円、市3,381万円)

R6年度 1億4,562万円

何のために？

身体障害者手帳を所持している18歳以上の者、又は身体に障害を有する18歳未満の児童に対して、障害を取り除いたり、軽減するために行う手術や治療に係る医療費を助成します。

2 健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまち

84

継続

・障害支援区分認定訪問調査事業(障がい長寿課)

R7年度 2,074万円 (財源:市2,074万円)

R6年度 1,825万円

何のために？

障害者の在宅生活支援や施設入所支援といった福祉サービスの必要性を総合的に判定するため、障害支援区分を設けています。障害支援区分認定の基準となる専門員による訪問調査や、中立・公正な立場で判定するため審査会の設置・運営を行っています。

85

継続

・特別障害者(児)手当の給付(障がい長寿課)

R7年度 5,116万円 (財源:国 3,836万円、市1,280万円)

R6年度 5,116万円

何のために？

在宅で心身に障害があり、日常生活に常時特別の介護を必要とする障害のある者に特別障害者(児)手当を支給します。
手当は年4回(2月・5月・8月・11月)に支給されます。

86

継続

・補装具の給付(修理)(障がい長寿課)

R7年度 1,172万円 (財源:国 585万円、県 292万円、市 295万円)

R6年度 1,172万円

何のために？

身体に障害のある者に対し、日常生活を向上させるため、失われた身体機能を補う補装具の購入及び修理に係る費用の給付を行います。

2 健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまち

87

継続

・地域生活支援事業(障がい長寿課)

R7年度 5,662万円 (財源:国2,831万円、県 1,415万円、市1,416万円)

R6年度 5,440万円

何のために？

障害者が地域で自立した生活をしていくため、各種事業を行います。

事業名	事業概要
地域活動支援センター	センターに通所し創作的な活動、生産活動、地域との交流の場を提供する。
移動支援	屋外での移動が困難な障害者等について、外出のための支援を行い、社会生活に不可欠な外出及び余暇活動等の社会生活を支援する。
意思疎通支援	意思疎通を図ることに支障がある障害者等に手話通訳等を行う。
日中一時支援	障害者等の家族の就労支援及び障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を確保する。
相談支援	障害者等又は介護を行う者などからの電話相談や面談等を行い、問題解決の支援を行う。また、地域自立支援協議会を設置し、地域の障害福祉に関するシステムづくりについて、中核的な役割を果たすため定期的に協議を行う。
住宅入居等支援	保証人がいない等の理由で賃貸契約による一般住宅への入居が困難な障害者等について、関係機関から必要な支援を受けることができるよう調整を行う。
日常生活用具給付等	心身に障害のある人の日常生活の便宜を図るため、日常生活用具の給付や貸与を行う。
奉仕員養成研修事業	聴覚障害者に関連する知識と、日常会話に必要な手話表現技術を習得した手話奉仕員を養成する。
理解促進研修・啓発事業	障害者理解啓発のためのパンフレットを市役所窓口へ設置及び配布、市ホームページへの掲載を行う。
自発的活動支援	障害者等やその家族が互いの悩みを共通することや、情報交換のできる活動について、地域市民を対象とした勉強会、情報交換交流会を開催する。
成年後見制度利用支援事業	豊見城市成年後見制度利用支援事業助成金交付要綱に該当する「障がい者(被後見人等)の後見人等」に報酬を助成します。
障害者虐待防止事業	障害者虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応、その後の適切な支援のため、関係機関、地域住民等の支援体制の強化や協力体制の整備を図る。
発達障害児者及び家族等支援事業	保護者等が子どもの発達障害の特性を理解し、必要な知識や支援方法を身につけ、適切な対応ができるようペアレントトレーニングを実施します。

2 健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまち

88

継続

・障害福祉サービス費の支給(障がい長寿課)

R7年度 16億4,895万円

(財源:国 8億2,447万円、県 4億1,224万円、市 4億1,224万円)

R6年度 15億4,797万円

何のために？

障害福祉サービスを利用する障害者または障害児に対し、介護給付費(障害に起因する日常生活上継続的に必要な介護支援)や、訓練等給付費(障害者が地域で生活するために一定期間提供される訓練的支援)等を支給します。

89

継続

・女性相談員活動強化事業(子育て支援課)

R7年度 948万円 (財源:国 300万円、市 648万円)

R6年度 814万円

何のために？

夫婦の問題、DV被害等女性に関するさまざまな相談を受ける中で、関係機関との連携を図りながら自立に向けた支援を行います。令和4年度からDV被害者支援の充実と円滑化を図ることを目的に、県内の市町村では初となる「配偶者暴力相談支援センター」の窓口を設置し事業を実施しています。

90

継続

・乳幼児の健康診査(子育て支援課)

R7年度 2,153万円 (財源:市 2,153万円)

R6年度 2,246万円

何のために？

・乳児一般健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査
疾病の予防、健康の保持増進のため、身体計測、尿検査(3歳児健診)、貧血検査(乳児健診・1歳6か月児健診)、小児科医診察、歯科健診、歯科相談、フッ素塗布(1歳6か月児健診、3歳児健診)、保健・栄養相談、心理相談を実施し、必要な指導、助言を行います。乳児健診前期(4か月)は、医療機関での個別健診を実施します。

2 健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまち

91

継続

・妊産婦健診事業(子育て支援課)

R7年度 8,795万円 (財源:国 453万円、市 8,342万円)

R6年度 7,305万円

何のために？

(妊婦健診): 安心安全なお産のために妊婦健診14回分及びHTLV-1抗体検査、風疹ウィルス抗体検査、HIV抗体検査、クラミジア抗体検査に係る費用を公費負担します。

(産婦健診): 産後の母体の回復や新生児の子育ての状況を把握し、産後の母子の支援を強化するため、産後2週間、産後1か月など出産後間もない時期に産婦健康診査の費用を公費負担します。

新規(妊婦歯科健診): 母子の口腔衛生の向上および全身の健康増進を目的に、妊婦に対し歯科健康診査を実施します。

92

継続

・子育て世代包括支援センター運営事業(子育て支援課)

R7年度 2,072万円 (財源:国 1,371万円、県 334万円、市 367万円)

R6年度 1,403万円

何のために？

「こども家庭センター」の母子保健機能として保健師等の専門職が母子保健サービスや子育て支援サービスの情報提供、関係機関との調整、サポートプランの作成を行い、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない伴走型支援を実施します。

2 健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまち

93

継続

・伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業(子育て支援課)

R7年度 550万円 (財源:国 366万円、県 91万円、市 93万円)

R6年度 7.864万円

何のために？

全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるよう、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊婦・子育て世帯等に対し、出産育児関連用品の購入費助成や子育て支援サービスの利用負担軽減を図る出産・子育て応援給付金を支給するものです。(本事業は、R7年度から給付事業は妊婦のための支援給付事業に、相談事業は妊婦等包括相談支援事業に移行します。ただし、R6年度で受給していない妊婦、養育者は、出産・子育て応援給付金事業の対象となります。)

94

新規

・妊婦のための支援給付事業(子育て支援課)

R7年度 5.551万円 (財源:国 5.500万円、県 25万円、市 26万円)

R6年度 —

何のために？

妊娠中の身体的、精神的及び経済的な負担軽減のための総合的な支援を行うため、妊婦とそのパートナーに対する面談等による相談支援と併せて、妊婦に対し妊婦支援給付金を支給します。

95

新規

・妊婦等包括相談支援事業(子育て支援課)

R7年度 583 万円 (財源:国 291万円、県 145万円、市 147万円)

R6年度 —

何のために？

妊婦・そのパートナーに対して面談等により情報提供や相談等を行うことにより、妊娠時から寄り添い、必要な支援につなぐ伴走型相談支援の推進を図ります。

2 健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまち

96

継続

・食育推進事業(子育て支援課)

R7年度 109万円 (財源:国 50万円、市 59万円)

R6年度 50万円

何のために？

乳幼児と保護者が、健全な食生活を推進し、将来の生活習慣病の予防を図ります。妊産婦の栄養相談、離乳食教室や乳幼児健診の栄養相談、食育情報の発信を行います。

97

新規

・先進医療不妊治療費助成事業(子育て支援課)

R7年度 27万円 (財源:市27万円)

R6年度 —

何のために？

不妊治療の経済的負担を軽減するため、沖縄県等の助成を受けた方等に対し、自己負担額について上限7万円までの助成を行います。

2 健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまち

98

継続

・小児の予防接種(子育て支援課)

R7年度 2億731万円 (財源:県 117万円、市 1億1,312万円、その他9,302万円)

R6年度 2億2,844万円

何のために？

感染症の中には感染して発病すると重症化したり、後遺症が残ったり、ときには命に関わる病気もあります。予防接種は、それぞれの感染症ごとに感染を防ぎ、感染しても軽症で抑えたり、感染症の蔓延を防ぐために行います。

定期予防接種の種類、対象年齢、回数

予防接種の種類	対象年齢	回数
ヒブ(Hib)	生後2か月～5歳未満	4回
小児用肺炎球菌	生後2か月～5歳未満	4回
B型肝炎	1歳の誕生日の前日まで(標準:生後2か月～8か月)	3回
ロタ	ロタリックス:出生6週0日後から出生24週0日後までの間にある者	2回
	ロタテック:出生6週0日後から出生32週0日後までの間にある者	3回
4種混合 (ジフテリア・百日咳・ 破傷風・ポリオ)	1期初回 生後2か月～7歳半未満	3回
	1期追加 生後2か月～7歳半未満 (1期初回終了後1年～1年半の間)	1回
BCG(結核)	1歳の誕生日の前日まで(標準:生後5か月～8か月)	1回
MR (麻しん・風しん)※1	1期 1歳～2歳の誕生日の前日まで	1回
	2期 小学校就学前の1年間	1回
水痘 (みずぼうそう)	1歳～3歳の誕生日の前日まで	2回
日本脳炎	1期初回 生後6か月～7歳半未満(標準3歳)	2回
	1期追加 生後6か月～7歳半未満(標準4歳) (1期初回からおおむね1年おく)	1回
	2期 9歳～13歳の誕生日の前日まで	1回
DT(ジフテリア・破傷風)	2期 11歳～13歳の誕生日の前日まで	1回
子宮頸がん 予防ワクチン※2	小学6年生～高校1年生(相当年齢)の女性 (標準:中学1年生)	2回～3回

※1 MR(麻しん・風しん)特例により以下の方の接種対象期間を延長します。対象の方は、①1期:令和4年4月2日から令和5年4月1日生まれの者 ②2期:平成30年4月2日から平成31年4月1日生ま

※2 平成9年4月2日から平成21年4月1日生まれの女性で、令和4年4月1日から令和7年3月31日の間に子宮頸がんワクチンを1回以上接種した方は残りの接種を公費で受けられます。

2 健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまち

99

継続

・こどもへの医療費助成(こども応援課)

R7年度 3億7,693万円 (財源:県 1億8,397万円、市 1億9,293万円、その他 3万円)

R6年度 3億5,873万円

何のために？

病院、薬局等で診療や調剤を受けたときに支払った医療費のうち、保険内の自己負担額を助成します。

対象年齢：外来・入院：15歳に達した日以後における最初の3月31日(中学修了前)まで

100

継続

・成人の予防接種(健康推進課)

R7年度 8,937万円 (財源:国297万円、市8,640万円)

R6年度 4,260万円

何のために？

予防接種法で定める定期接種の対象者(成人)に対して予防接種の助成を行います。

定期接種 ■インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症 65歳以上

■高齢者肺炎球菌 65歳の者

■帯状疱疹ウイルス (65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳、101歳以上)

任意接種 ■高齢者肺炎球菌 75歳以上(市独自助成)

101

継続

・特定健康診査等事業(健康推進課)

R7年度 2,949万円 (財源:県2,940万円、市9万円)

R6年度 3,886万円

何のために？

20歳以上の国保被保険者を対象に、メタボリックシンドローム(内臓脂肪型症候群)に着目した健康診査等事業を実施し、検査値により、生活習慣改善を促し糖尿病等の生活習慣病予防及び重症化予防に努めます。

2 健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまち

102 継続

・保健事業(健康推進課)

R7年度 3.864万円 (財源:県1.744万円、市2.120万円)

R6年度 3.526万円

何のために？

特定健康診査の結果に基づき、肥満、血圧高値、脂質異常、血糖高値等の方へ、保健指導・栄養指導、二次健診、健康教室等を実施し、生活習慣改善を支援することで、生活習慣病予防又は重症化予防に努め、健康長寿を目指します。

103 継続

・骨髄等移植ドナー助成事業(健康推進課)

R7年度 14万円 (財源:県7万円、市7万円)

R6年度 14万円

何のために？

日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄ドナーが骨髄等の提供を行いやすい環境づくりの整備を図ります。骨髄等の提供のための通院・入院等の間、収入が無くなった市民の方に対し、日数(7日間を限度)に応じて助成金を交付します。

104 継続

・健康増進事業(健康推進課)

R7年度 1.241万円 (財源:県23万円、市398万円、その他820万円)

R6年度 1.776万円

何のために？

市民の健康課題の解決と健康づくりを目的に、生活習慣病予防教室や操体法教室を開催するほか、市内事業所と連携し働き盛り世代の健康増進を図ります。また、高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業も行います。

2 健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまち

105 継続

・健康診査事業(健康推進課)

R7年度 5,397万円 (財源:県134万円、県194万円、市5,069万円)

R6年度 4,923万円

何のために？

20歳以上(肝炎ウイルス検査は40歳以上)で、職場などで健康診査を受ける機会のない市民を対象に、市役所・医療機関においてがん検診・健康診査を行い市民の健康増進を促進します。また、がん検診の結果により精密検査が必要な方へ、精密検査結果の確認と医療受診の勧奨を行います。

106 継続

・食育推進事業(健康推進課)

R7年度 150万円 (財源:市150万円)

R6年度 145万円

何のために？

健康的な食生活を推進し、生活習慣病の予防を図ります。栄養相談や体験型食事バランス診断の実施、食育情報の発信、関連機関との連携等を行います。

107 継続

・がん患者アピアランスケア支援事業

R7年度 60万円 (財源:県30万円、市30万円)

R6年度 60万円

何のために？

がん患者の心理的・経済的負担軽減及び療養生活の質の向上、社会参加の促進に寄与することを目的に、がん治療による補整具(ウィッグ又は乳房補整具)の購入費用の一部助成を行います。

2 健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまち

108 継続

・特定健診インセンティブ付与事業

R7年度 325万円 (財源:その他325万円)

R6年度 104万円 (※再掲:R6年度特定健康診査等事業費に含む)

何のために？

市国保特定健診受診者(40～74歳)へのインセンティブ付与の強化を図り、特定健診受診率の向上を目指します。

109 継続

・男女共同参画社会の推進(協働のまち推進課)

R7年度 33万円 (財源:市 33万円)

R6年度 33万円



何のために？

男女共同参画社会の実現に向け、平成30年度に策定した「第3次豊見城市男女共同参画プラン」の各施策を推進し、令和11年度までに次期計画の策定を目指すとともに、男女共同参画講座やパネル展の開催、男女共同参画に関するキャッチフレーズ・ポスター募集を行い、意識啓発に取り組めます。

110 継続

・シルバー人材センターの運営補助(商工観光課)

R7年度 1,250万円 (財源:市1250万円)

R6年度 1,187万円

何のために？

高齢者の生きがいの充実を図ることや社会参加の促進と就業機会を提供することを目的として設置された「公益社団法人豊見城市シルバー人材センター」に運営の補助を行います。

2 健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまち

111

継続

- ・商工会の運営補助（商工観光課）

R7年度 920万円 （財源：市920万円）

R6年度 860万円

何のために？

産業基盤の強化のため、経営改善事業や各種研修会などの施策を積極的に展開している商工会に運営の補助を行います。

3 活気ある豊かなまち

112

継続

- ・ 第39回とみぐすく祭り・
第10回とみぐすく産業フェスタ（商工観光課）

R7年度 2,400万円
（財源：県 1,920万円、市 480万円）
R6年度 2,400万円



何のために？

市民や観光客等に対し、豊見城市の豊かな産品をPRすることで、地域の魅力や価値を向上させ、地産地消を推進し、地域内経済の循環を高めます。また、市民、圏域住民との融和と親睦を深めると同時に、集客交流の場とすることで、異業種間での連携を生み出し、新たな産業の創出を図り、地域の更なる活性化に資することを目的としています。

113

継続

- ・ 豊見城市観光PR事業（商工観光課）

R7年度 414万円
（財源：県331万円、市83万円）
R6年度 264万円

何のために？

首都圏において本市の物産展と、本市の観光・文化等についてのPR展を併せて開催し、ノベルティの配布やアンケート調査等を実施することで、本市の認知度向上を図り、更なる誘客増を目指します。

114

継続

- ・ 豊見城市観光協会補助金（商工観光課）

R7年度 1,845万円（財源：市1,845万円）
R6年度 1,845万円

何のために？

観光まちづくりを推進し、魅力あふれる豊見城市の発展に寄与することを目的に設立された観光協会に対し、補助金を交付することにより観光資源の開発、調査研究及び観光客の誘客等を図ります。

3 活気ある豊かなまち

115

継続

・豊見城市産業振興計画策定事業（商工観光課）

R7年度 896万円（財源：県701万円、市195万円）

R6年度 1,433万円

何のために？

住民の事業と生活を維持しつつ、将来を先取りした経済の礎を築く方向性と取組を示すため、基礎調査等で本市の産業の課題を明らかにしたうえで、柔軟かつ的確に対応した実効性の高い産業振興施策を実現するための産業振興計画を策定します。

116

継続

・お仕事体験事業（商工観光課）

R7年度 407万円
（財源：県325万円、市82万円）

R6年度 200万円

何のために？

市内小中学生を対象とした職業体験イベントを実施し、多種多様な職業を疑似体験させることで、児童生徒の将来の職業観を育みます。



117

継続

・豊見城市創業支援等事業者補助金（商工観光課）

R7年度 398万円
（財源：県318万円、市80万円）

R6年度 348万円

何のために？

本市と連携して創業支援事業を実施し、創業希望者にとって個別相談よりも敷居の低い創業セミナーを実施する事業者に対し補助金を交付することにより、多様な創業者の掘り起こしや、創業者の段階に合わせた支援を提供し、市での創業者数の増加につなげます。

3 活気ある豊かなまち

118

継続

・観光振興地域環境美化強化事業（道路課）

R7年度 787万円
（財源：県629万円、市158万円）
R6年度 519万円



何のために？

ビーチや大型商業施設が立地し多くの観光客が所在する豊崎地区、瀬長島および沖縄空手会館付近において、植樹樹の除草清掃など美化強化を行い、沖縄らしい景観や魅力ある観光地づくりに取り組みます。

119

継続

・豊見城市優良母牛導入支援事業（農林水産課）

R7年度 660万円（財源：国528万円、市132万円）
R6年度 825万円

何のために？

優良母牛の導入を促進し、畜産農家の生活基盤の確立及び経営の安定を図ります。

120

継続

・漁業再生の支援（農林水産課）

R7年度 517万円（財源：国392万円、市125万円）
R6年度 424万円

何のために？

漁場の生産力の向上や創意工夫を活かした新たな取り組みを支援するために、糸満漁協と根支部及び糸満漁協瀬長支部に補助金を交付します。

3 活気ある豊かなまち

121

継続

- ・耐候性園芸施設整備事業（農林水産課）

R7年度 5,800万円（財源：県4,600万円、その他1,200万円）

R6年度 4,125万円

何のために？

耐用年数を経過した農業用ビニールハウス(マンゴー、パパイヤ、トマト)の補強や改修を行い、農作物の安定生産を目指します。

122

新規

- ・豊見城農業振興地域整備計画策定事業（農林水産課）

R7年度 878万円（財源：市878万円）

R6年度 —

何のために？

農業振興地域整備計画に関する基礎調査として、農用地等の面積、土地利用、農業就業人口の規模、人口規模、農業生産等に関する現況及び将来の見通しについて調査を行い、必要に応じて豊見城農業振興地域整備計画の見直しを図ります。

123

継続

- ・文化観光創出事業(公園緑地課)

R7年度 850万円
（財源：県 680万円、市 170万円(うち借金 170万円)）

R6年度 1億4,573万円

何のために？

平成25年度策定の「豊見城城址跡地利用基本計画」を踏まえ、豊見城城跡及びその周辺について、観光資源として活用するため、必要な施設等の設計を行います。

3 活気ある豊かなまち

124

継続

・豊見城市観光施設環境美化強化事業(公園緑地課)

R7年度 3,077万円
(財源:県2,461万円、市616万円)
R6年度 2,243万円



何のために？

サンセットパークを中心とした瀬長島のごみ収集や屋外トイレの清掃、豊見城城址も含めた除草作業や芝刈等を委託し、瀬長島と豊見城城址の環境美化と保全に努めます。

4 環境に優しい住みよいまち

125

継続

- ・「まちの顔」旧IT産業振興センター
周辺地区整備事業（管財課）

R7年度 9億3,730万円
（財源：市 9億3,730万円（うち借金 8億3,420万円））
R6年度 9,500万円



何のために？

中心市街地における「まちの顔」拠点づくりにおいて、賑わいと魅力にあふれるまちづくりを図り、土地の高度利用化を進めていくため、旧IT産業振興センター跡地に防災機能を備えた、都市機能集約に寄与する立体駐車場を整備します。

126

継続

- ・公営墓地事業（特別会計）（環境課）

R7年度 2,243万円
（財源：市 2,243万円（うち借金 1,960万円））
R6年度 962万円

特別会計

何のために？

公営墓地を整備する事で、市民の墓地需要を満たし、個人墓地の散在化による弊害を防ぐと共に、無縁仏対策にも繋がります。令和7年度は地籍測量図作成等を行います。

127

継続

- ・漫湖水鳥・湿地センターの運営補助（環境課）

R7年度 575万円
（財源：市 575万円）
R6年度 575万円



何のために？

漫湖水鳥・湿地センターは、水鳥をはじめとする野生生物の保護と湿地の保全を図り、自然観察や環境学習の場として本市に設置されました。同センターは、環境省、沖縄県、那覇市、本市で構成する漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会で管理運営されています。

4 環境に優しい住みよいまち

128 継続

- ・自動車騒音常時監視等業務（環境課）

R7年度 285万円
（財源：市 85万円、その他 200万円）
R6年度 255万円

何のために？

騒音規制法第18条第1項に基づき、自動車騒音の状況及び対策の効果を把握し、自動車騒音公害防止の基礎資料となるよう、継続的に把握することを目的とします。



129 継続

- ・ごみ収集事業（環境課）

R7年度 7億1,522万円
（財源：市 6億3,990万円、その他 7,532万円）
R6年度 7億1,800万円

何のために？

ごみの処理やし尿処理は、本市及び糸満市で設置の糸豊環境美化センターで処理しています。当該施設の運営に係る本市負担分や、家庭ごみ、粗大ごみを収集するための委託費等を負担しています。

130 継続

- ・資源物の収集とリサイクル（環境課）

R7年度 1,270万円
（財源：市 876万円 その他 394万円）
R6年度 1,274万円

何のために？

ごみ減量化とリサイクルを図るため、資源物の分別収集を行っています。



4 環境に優しい住みよいまち

131 継続

・犬や猫などの衛生対策（環境課）

R7年度 247万円
（財源：市 103万円、その他 144万円）
R6年度 269万円



集合注射の様子

何のために？

飼い犬の適正管理及び狂犬病対策の一環として、地域を巡回しての狂犬病集合予防注射、協力病院でも登録及び済票の交付が行えるようにしています。また、所有者の判明しない犬や猫等の死骸を回収し処理を行います。

132 継続

・不法投棄対策（環境課）

R7年度 24万円
（財源：市 24万円）
R6年度 3万円



何のために？

自治会を通して監視カメラや看板を設置し、警察署や関係機関とのパトロール、各世帯への不法投棄防止対策チラシの配布を行い、不法投棄の防止に努めています。

133 継続

・ごみの減量化対策（環境課）

R7年度 87万円
（財源：市 87万円）
R6年度 83万円



何のために？

生ごみ堆肥化講習会の実施及び処理機等の購入に対する奨励金の交付により、ごみの減量化に努めています。

4 環境に優しい住みよいまち

134

継続

・豊見城市総合交通戦略推進等支援事業(都市計画課)

R7年度 740万円 (財源:国581万円、市159万円)

R6年度 1,509万円

何のために？

誰もが使いやすい公共交通ネットワークの形成、過度な自動車依存からの脱却を図るため、交通戦略に掲げた施策推進を進める事業です。

135

継続

・字豊見城地区街なみ環境整備事業(都市計画課)

R7年度 605万円 (財源:国302万円、市303万円(うち借金230万円))

R6年度 128万円

何のために？

字豊見城地区において、地域固有の歴史や文化、自然等を保全・活用・継承し、住みよい・訪れたい街なみ環境形成を図るため、住宅等の修景整備を行う者に対し、補助金を交付して助成を行うほか、公園等の施設整備を行います。

136

継続

・改良住宅長寿命化計画整備事業(都市計画課)

R7年度 1億5,525万円 (財源:国7,762万円、市7,763万円(うち借金 7,750万円))

R6年度 1,977万円

何のために？

豊見城市改良住宅長寿命化計画に基づき、D棟の防水・塗装改修工事およびA・E棟エレベーター改修工事、C棟の防水・塗装改修工事に係る設計を行います。

4 環境に優しい住みよいまち

137 継続

・都市計画マスタープラン改定業務(都市計画課)

R7年度 1,231万円 (財源:市 1,231万円)

R6年度 1,025万円

何のために？

第5次総合計画、第5次国土利用計画、沖縄県区域マスタープランなどの上位計画との整合を図るとともに、本市の新たなまちづくりに対応した都市計画マスタープランを策定する。

138 継続

・住宅リフォーム支援事業(都市計画課)

R7年度 187万円 (財源:国84万円、県20万円、市83万円)

R6年度 225万円

何のために？

市内の既存住宅をリフォームすることで、市民が安全・安心で潤いのある住環境の向上及び経済の活性化を図るため、自己の居住する住宅のリフォーム工事を行う市民に対し、補助金を交付して支援を行います。

139 継続

・新たな公共交通システム導入検討調査事業(都市計画課)

R7年度 2,228万円 (財源:国1,755万円、市473万円)

R6年度 2,943万円

何のために？

県民及び観光客の移動利便性の向上等を図り、誰もが使いやすい公共交通ネットワークの構築の実現に向け新たな公共交通システム導入検討を行う事業です。

4 環境に優しい住みよいまち

140 継続

- ・ 中心市街地土地区画整理事業（市街地整備課）

R7年度 1,728万円
（財源：県379万円、市1,180万円（うち借金1,180万円）、その他169万円）
R6年度 1,814万円

何のために？

土地区画整理事業により、道路整備や宅地整備を行い良好な市街地形成を図ります。

141 継続

- ・ 下原排水路浚渫・清掃等整備事業（農林水産課）

R7年度 2,000万円
（財源：市2,000万円（うち借金2,000万円））
R6年度 2,000万円

何のために？

下原地域一帯の排水路浚渫・除草等を行い、大雨の際の冠水被害の解消を目指します。

142 継続

- ・ 渡嘉敷土地改良排水路改修事業（農林水産課）

R7年度 1,677万円
（財源：国1,342万円、県134万円、市201万円（うち借金180万円））
R6年度 1,569万円



何のために？

渡嘉敷土地改良事業で整備した排水路については、近年の雨水量の増加による冠水被害が起こっており、排水路の改修工事を行い、冠水被害を防ぎます。

4 環境に優しい住みよいまち

143 継続

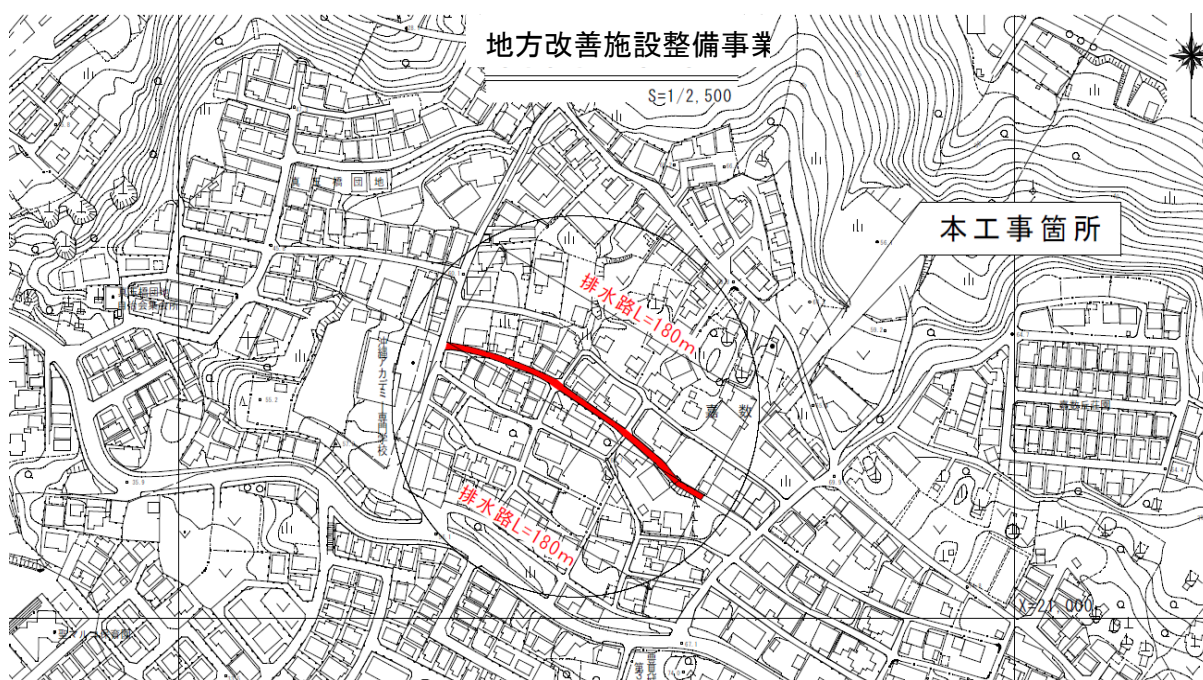
・地方改善施設整備事業（道路課）

R7年度 2,500万円（財源：国1,250万円、市1,250万円（うち借金930万円））

R6年度 2,500万円

何のために？

下水排水路を新設し、排水処理を良好な環境にすることにより生活環境の改善を図ります。



名称	総延長	備考
嘉数地内地方改善施設整備	180m	地方改善施設整備事業

144 新規

・豊見城市道維持管理委託業務（道路課）

R7年度 3,000万円
（財源：市 3,000万円）

R6年度 —

何のために？

これまで個別業務として処理していた豊見城市道及び生活道路や側溝について、修繕及び清掃等の管理業務を一括管理することで迅速な対応や業務間の連携を図り、効率的・効果的な道路管理を目指します。

4 環境に優しい住みよいまち

145 継続 (一部新規)

道路の新築と改良 (道路課)

R7年度 5億156万円

(財源: 国 3億1,985万円、市 1億8,171万円(うち借金1億7,270万円))

R6年度 7億2,705万円

何のために？

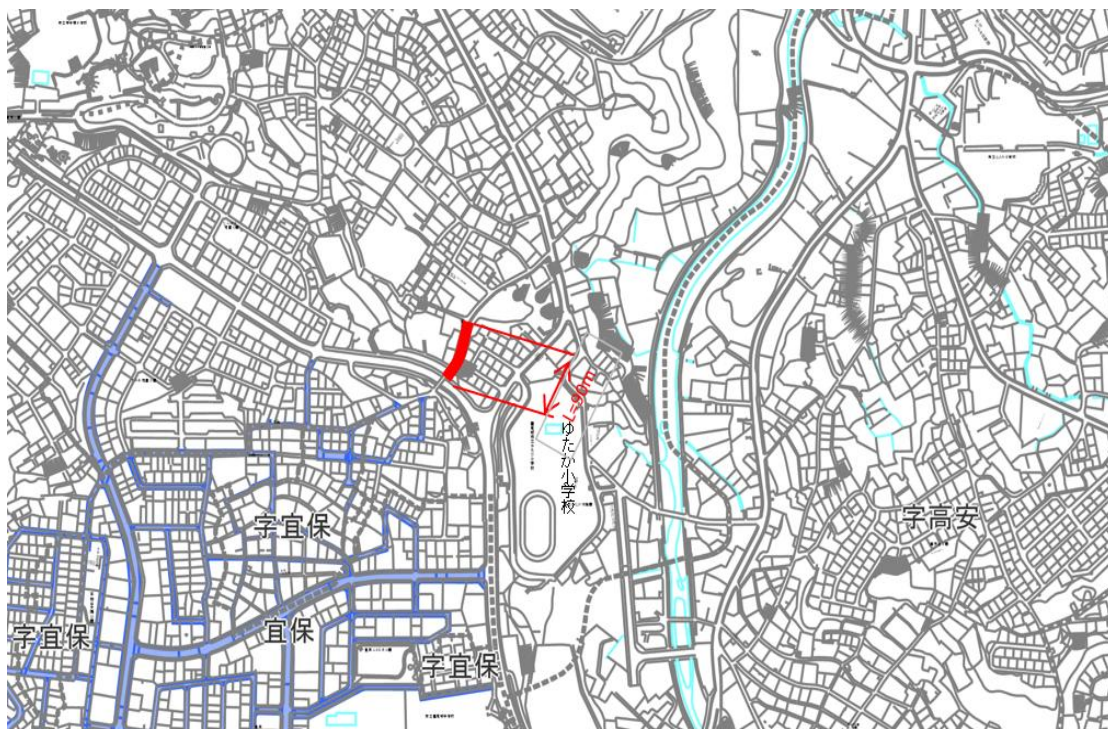
市民の通勤・通学や日常生活において、スムーズかつ便利に移動ができるように道路網の改良整備を行います。

事業名	路線の概要
①市道40号線 緊急自然災害防止対策事業	市道40号線の擁壁一部が傾倒しており、歩道通行止めをしていることから、当該箇所の復旧を行います。
②市道53号線 緊急自然災害防止対策事業	市道53号線の路面に亀裂変状が発生しているため、当該箇所の対策工事を行います。
③市道257号線 沖縄振興公共投資交付金事業	通勤通学路及び災害時における避難道路として市道257号線を整備します。
④市道25号線(上田中地区) 沖縄振興公共投資交付金事業	交通量の増加が著しい市道25号線について、狭い幅員の解消、歩道の設置により歩行者の安全確保が図られるよう整備します。
⑤市道2号線 沖縄振興公共投資交付金事業	通勤通学など生活道路として利用頻度の高い市道2号線の急勾配や狭い幅員を解消させます。
⑥市道286号線 沖縄振興公共投資交付金事業	市立体育館、友愛医療センター及び豊崎地区の観光関連施設等へのアクセス向上のため、市道286号線を整備します。
⑦市道41号線 社会資本整備総合交付金事業	通勤通学路として使用頻度の高い市道41号線について、狭い幅員を解消し、地域の交通安全かつ生活環境の改善を図ります。
⑧市道204号線社会資本整備総合交付金事業	大型車両の通行が多い市道204号線の交通の安全を確保するため、車道の拡幅と歩道を設置します。
⑨市道46号線社会資本整備総合交付金事業	斜面の変状により亀裂や道路附属物の沈下が発生している市道46号線の安全確保のため、法面对策を行います。
⑩市道27号線社会資本整備総合交付金事業	生活道路だけでなく近隣市町村への往来に利用される市道27号線の渋滞緩和の対策を講じます。
⑪市道30号線(尚敬橋)道路メンテナンス事業	県道7号線と市道32号線を結ぶ市道30号線(尚敬橋)の適切な道路施設管理の必要性から補修及び耐震補強を実施する。
⑫市道191号線(2号函渠)道路メンテナンス事業	市道6号線と市道68号線を結ぶ市道191号線(2号函渠)の適切な道路施設管理の必要性から補修を実施する。
⑬市道189号線(1号橋)道路メンテナンス事業	市道200号線と市道206号線を結ぶ市道189号線(1号橋)の適切な道路施設管理の必要性から補修を実施する。
⑭市道191号線(3号橋)道路メンテナンス事業	市道6号線と市道68号線を結ぶ市道191号線(3号橋)の適切な道路施設管理の必要性から補修を実施する。
⑮鑛波川線整備事業 (2工区・3工区・4工区)	中心市街地土地区画整理事業の代替整備事業として、都市計画道路である鑛波川線(2工区・3工区・4工区)を整備します。

4 環境に優しい住みよいまち

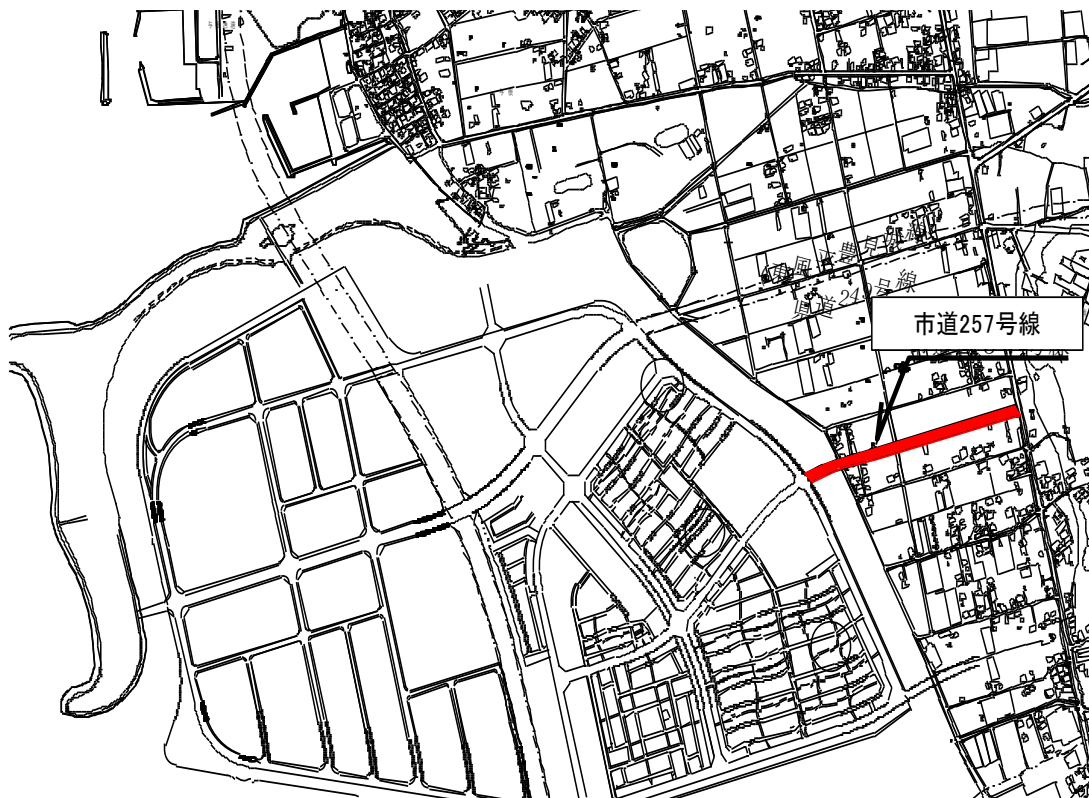


名称	総延長	備考
①市道40号線	18.0m	緊急自然災害防止対策事業

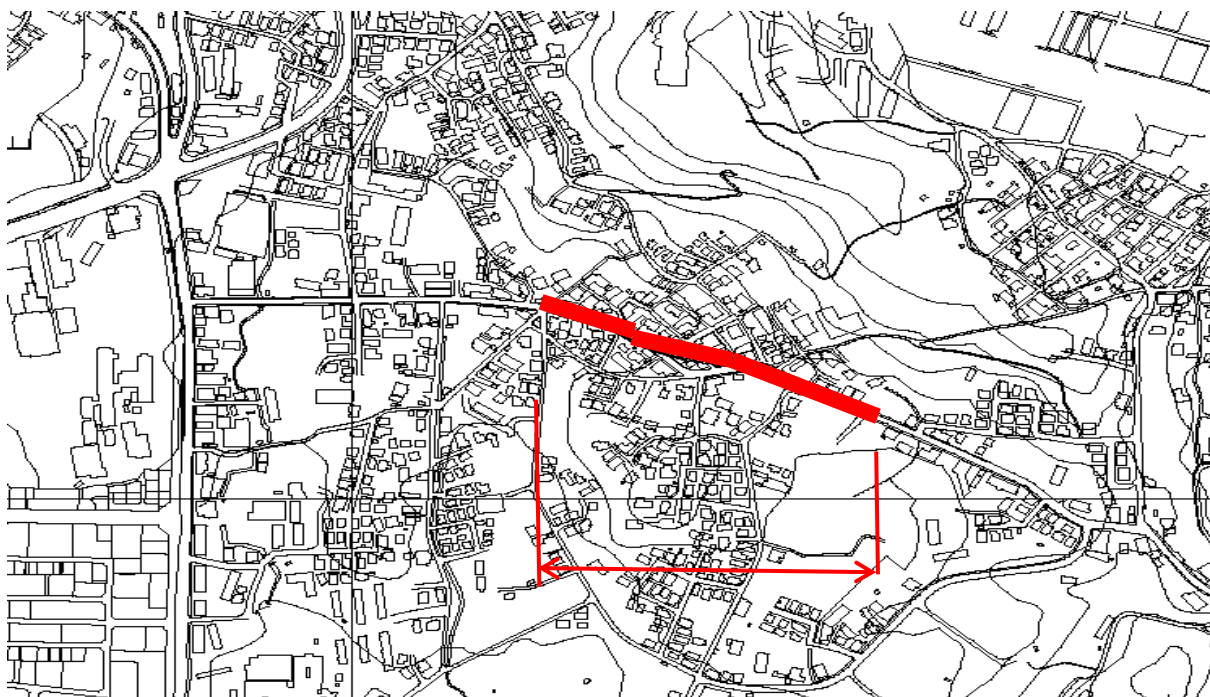


名称	総延長	備考
②市道53号線	90m	緊急自然災害防止対策事業

4 環境に優しい住みよいまち



名称	総延長	備考
③市道257号線	514m	沖縄振興公共投資交付金

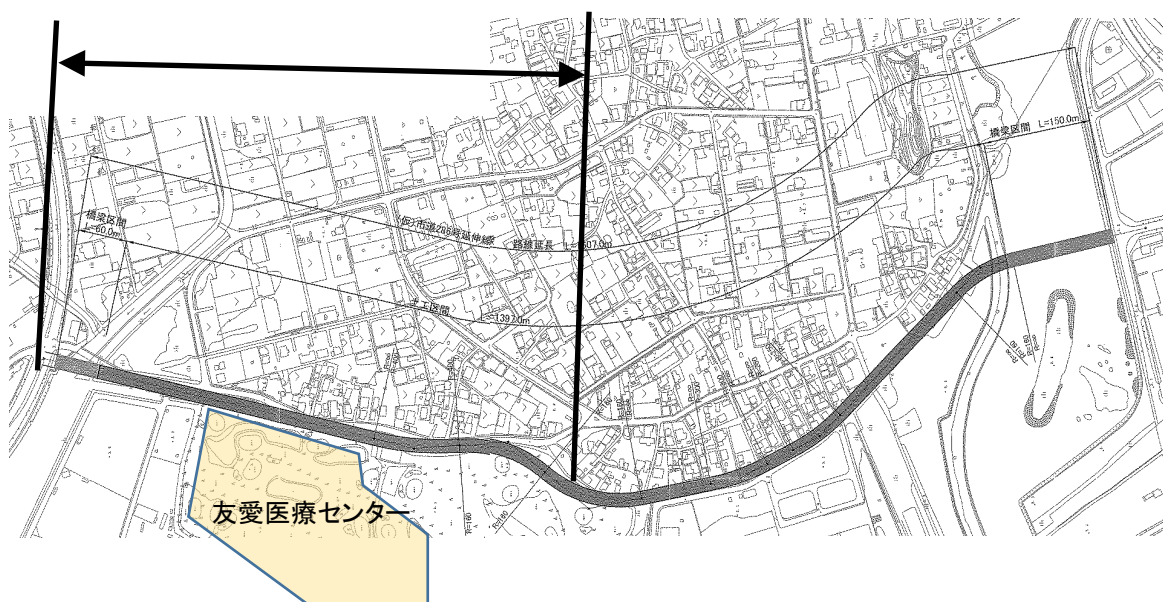


名称	総延長	備考
④市道25号線(中地区)	360m	沖縄振興公共投資交付金

4 環境に優しい住みよいまち

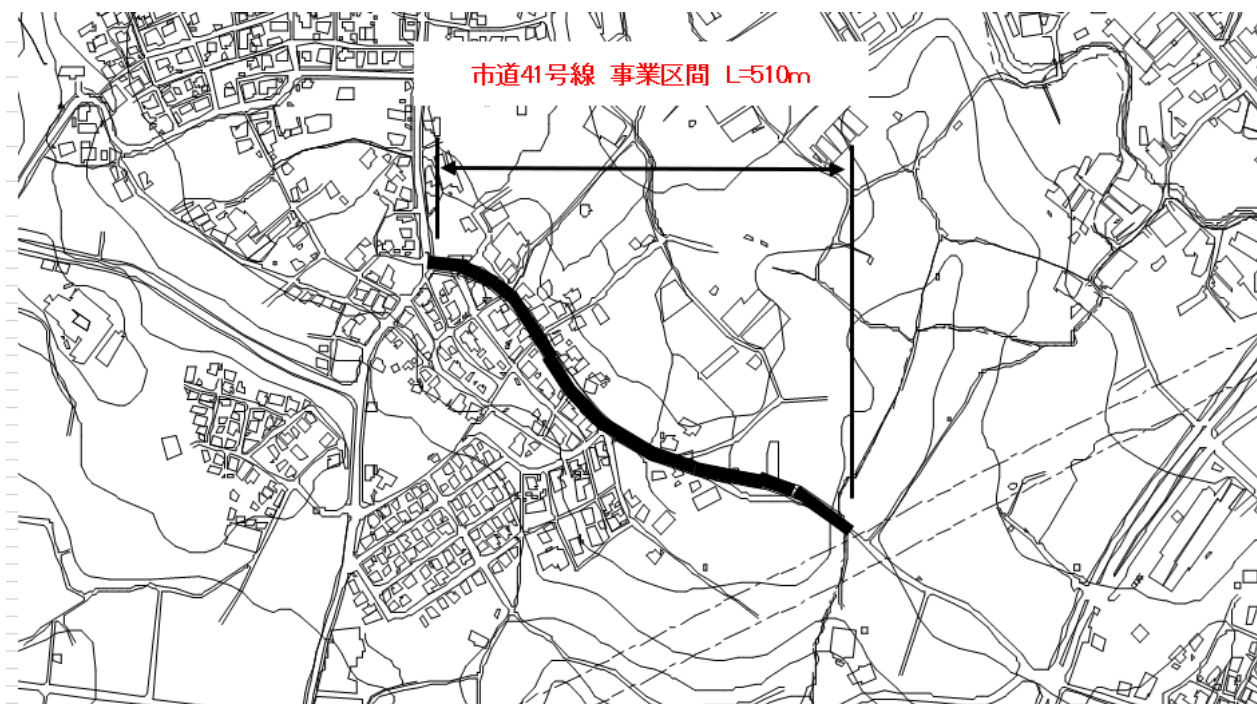


名称	総延長	備考
⑤市道2号線	775m	沖縄振興公共投資交付金

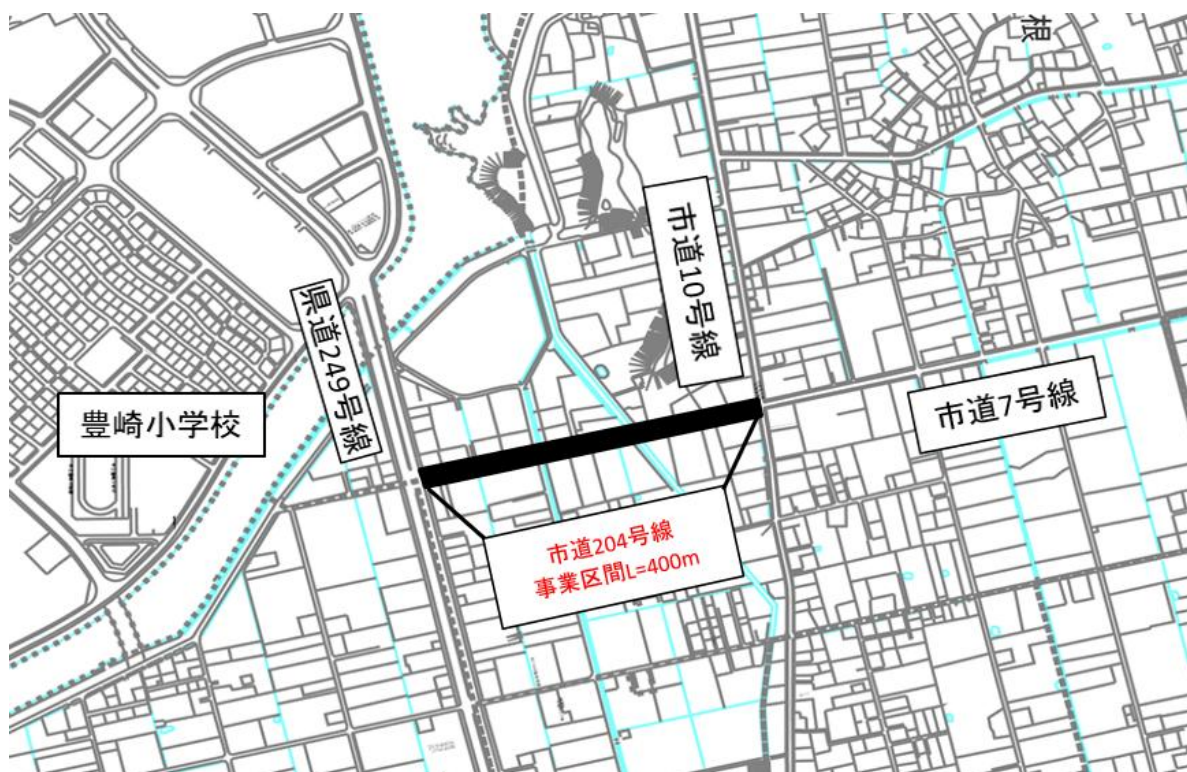


名称	総延長	備考
⑥市道286号線	870m	沖縄振興公共投資交付金事業

4 環境に優しい住みよいまち

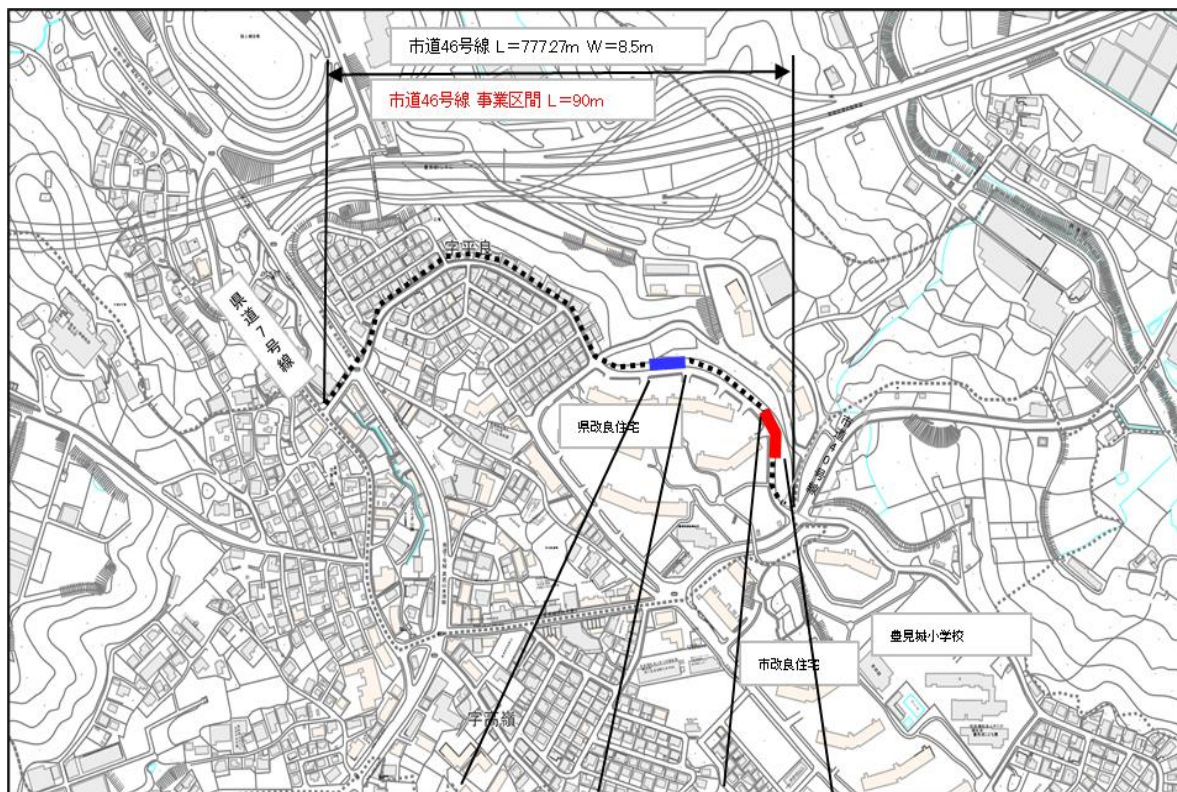


名称	総延長	備考
⑦市道41号線	510m	社会資本整備総合交付金

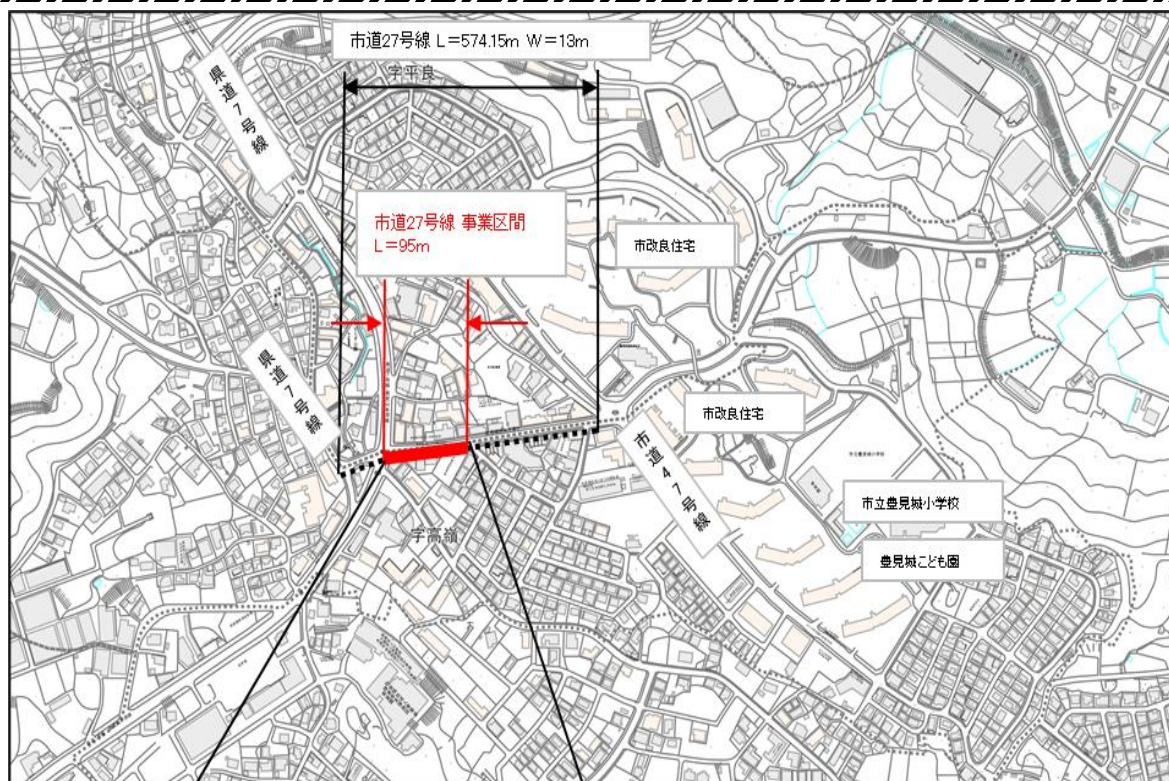


名称	総延長	備考
⑧市道204号線	400m	社会資本整備総合交付金事業

4 環境に優しい住みよいまち



名称	総延長	備考
⑨市道46号線	90m	社会資本整備総合交付金事業

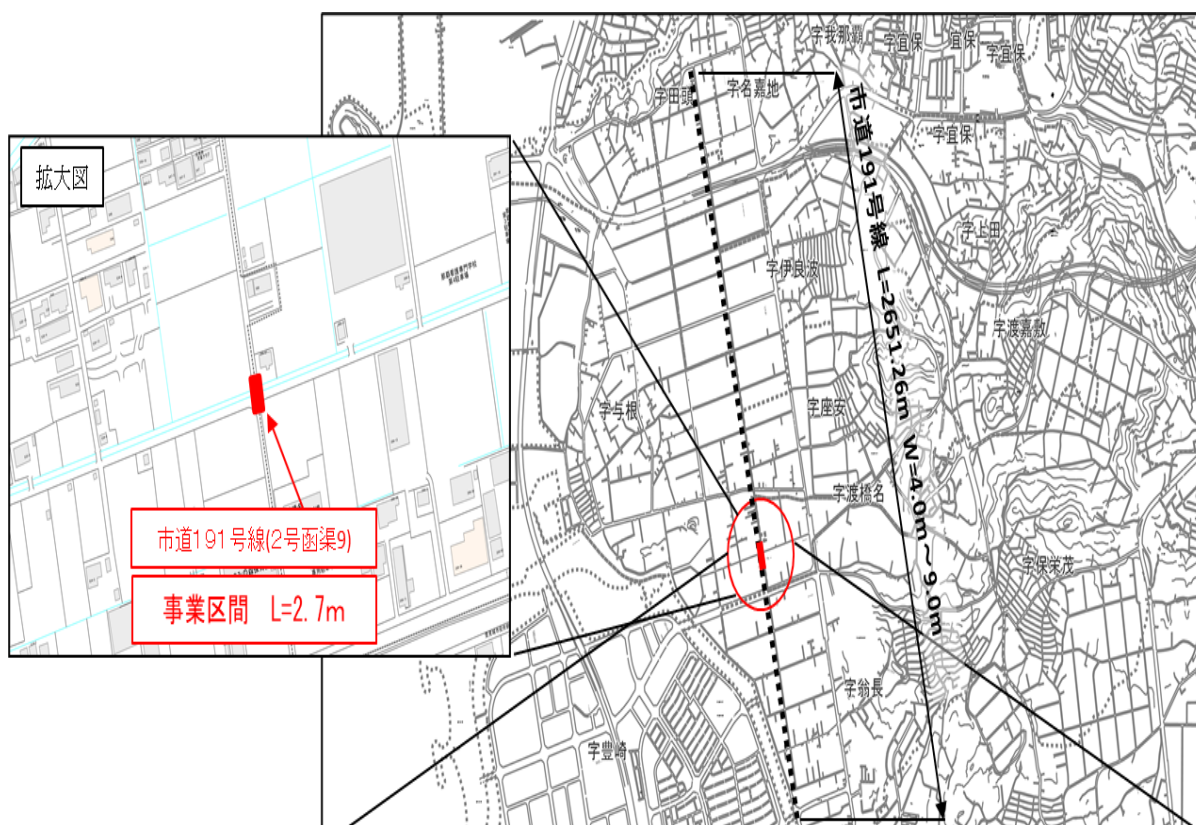


名称	総延長	備考
⑩市道27号線	95m	社会資本整備総合交付金

4_環境に優しい住みよいまち

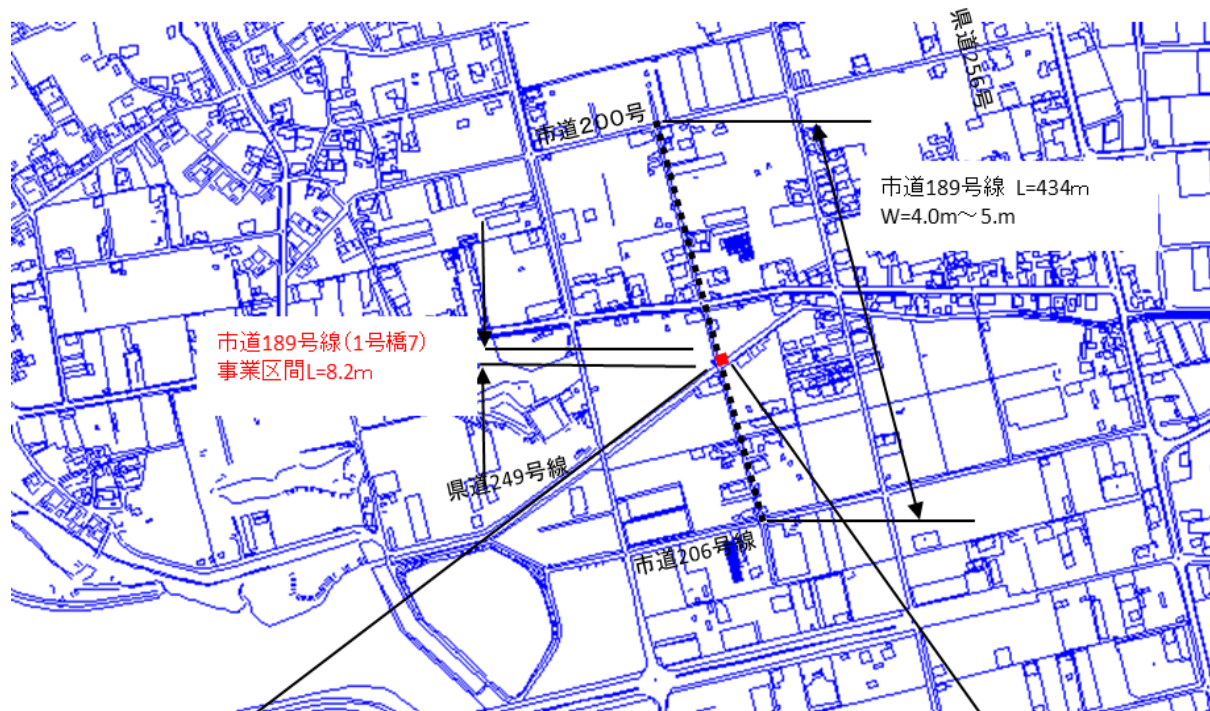


名称	総延長	備考
⑪市道30号線(尚敬橋)	37m	道路メンテナンス事業

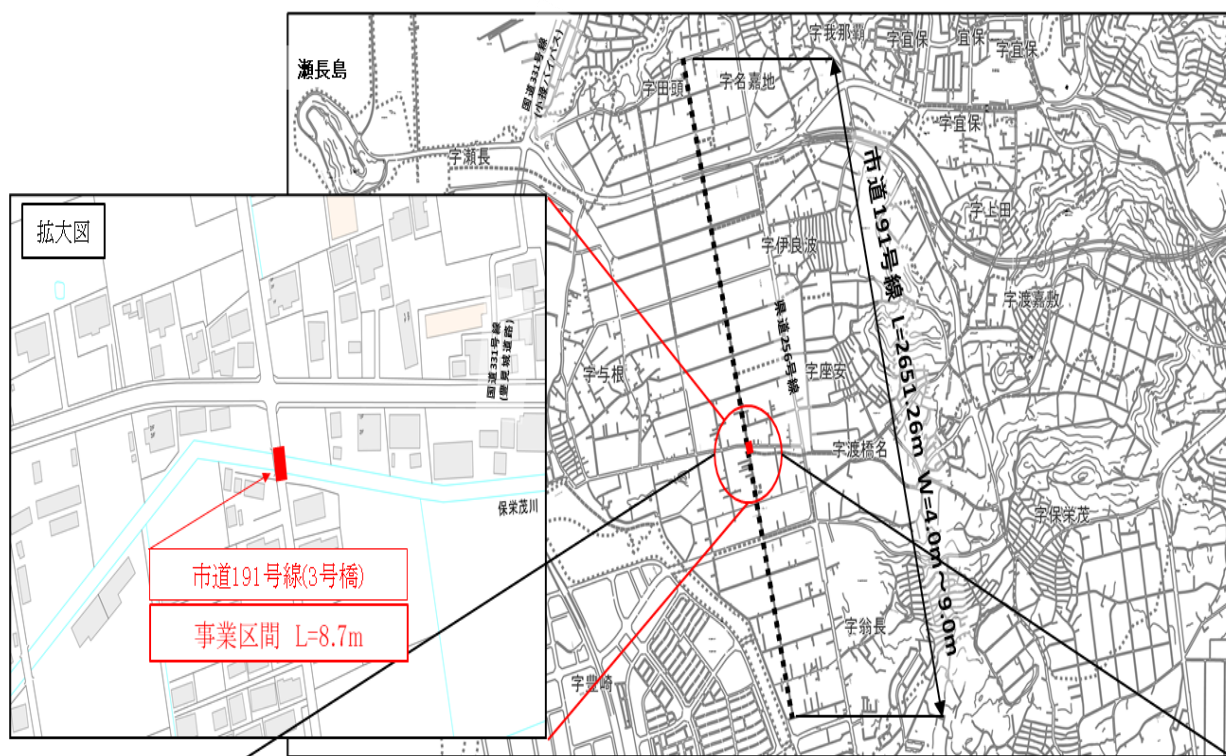


名称	総延長	備考
⑫市道191号線(2号函渠)	2.7m	道路メンテナンス事業

4 環境に優しい住みよいまち

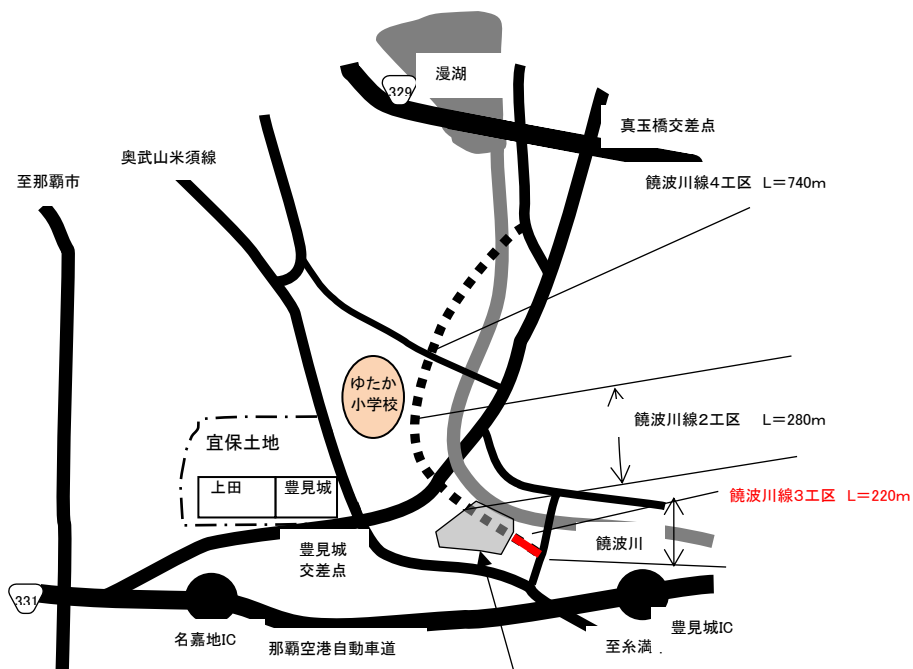


名称	総延長	備考
⑬市道189号線(1号橋)	8.2m	道路メンテナンス事業



名称	総延長	備考
⑭市道191号線(3号橋)	8.7m	道路メンテナンス事業

4 環境に優しい住みよいまち



名称	総延長	備考
⑮ 饒波川線(2工区～4工区)	1,240m	沖縄振興公共投資交付金事業

4 環境に優しい住みよいまち

146 継続

- ・都市公園安全・安心対策事業（公園緑地課）

R7年度 3,000万円
（財源：国1,500万円、市1,500万円（うち借金1,350万円））

R6年度 3,700万円



何のために？

本市の都市公園について、老朽化が進行している遊具等の改築・更新を計画的に行うことで、維持費のコスト縮減及び安全性の向上を高めます。

147 継続

- ・長嶺城址総合公園整備事業（公園緑地課）

R7年度 1億8,500万円
（財源：国9,250万円、市9,250万円（うち借金8,320万円））

R6年度 2億3,000万円

何のために？

長嶺城址跡地を都市基幹公園として休息、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的として用地購入等を行います。

4 環境に優しい住みよいまち

148 継続

公営企業会計

・水道事業（上下水道部 水道総務課、水道課）

収益的支出 R7年度 18億2,471万円(R6年度 16億6,363万円)

単位:万円

収益的収入		収益的支出	
営業収益	203,956	営業費用	175,191
営業外収益	14,143	営業外費用	6,971
特別利益	5	特別損失	9
-		予備費	300
計	218,104	計	182,471

※収益的収入と収益的支出の差額から消費税等を除いた額が当年度純利益3億5,931万円(予定)となります。

資本的支出 R7年度 5億8,705万円(R6年度 5億3,485万円)

単位:万円

資本的収入		資本的支出	
補助金	8,650	建設改良費	41,788
工事負担金	787	企業債償還金	8,417
他会計貸付金償還金	6,731	他会計貸付金	7,500
		予備費	1,000
計	16,168	計	58,705

※資本的収入が資本的支出に対して不足する4億2,537万円は過年度分損益勘定保留資金等で補てんします。



何のために？

私たちの暮らしに一日も欠かすことのできない水を、家庭や職場に提供しています。これからも安心して水が利用できるように安定供給と水道の質の向上に努めます。

メモ

・水道供給施設(送配水管)の整備(上下水道部水道課)

災害時のライフラインを確保するため、管路の耐震化や経年劣化により漏水が発生している管路の更新を行い、水道水の安定供給を図ります。

・水道供給施設の維持管理(上下水道部水道課)

安全・安心な水を安定的に供給するために、水道施設(ポンプ場・配水池・送配水管)の維持管理・修繕を図り、水質の管理・保全に努めます。

4 環境に優しい住みよいまち

149 継続

公営企業会計

・下水道事業（上下水道部 水道総務課、下水道課）

収益的支出 R7年度 11億4,326万円(R6年度 10億4,653万円)

単位:万円

収益的収入		収益的支出	
営業収益	62,488	営業費用	105,742
営業外収益	54,561	営業外費用	7,580
特別利益	9	特別損失	4
-		予備費	1,000
計	117,058	計	114,326

※収益的収入と収益的支出の差額から消費税を除いた額が当年度純利益918万円(予定)となります。

資本的支出 R7年度 12億5,612万円(R6年度 13億2,824万円)

単位:万円

資本的収入		資本的支出	
企業債	51,290	建設改良費	78,786
国・県補助金	35,097	企業債償還費	35,985
他会計補助金	10,201	他会計借入金償還金	6,731
他会計借入金	7,400	長期貸付金	110
長期貸付金償還金	19	予備費	4,000
計	104,007	計	125,612

※資本的収入が資本的支出に対して不足する2億1,605万円は過年度分損益勘定保留資金等で補てんします。

何のために？

下水道は快適で衛生的な生活と自然環境を守るために不可欠な公共施設です。市では計画的に公共下水道施設を整備するとともに、施設の維持管理や下水道への接続率向上についても引き続き努めてまいります。

メモ

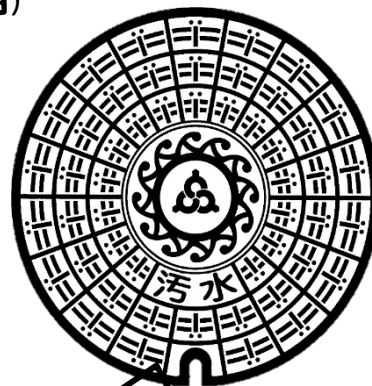
○水洗便所改造等貸付金制度

浄化槽や汲取り便所から公共下水道または農業集落排水へ切替える場合、無利子で工事に必要な資金を借り受けることができます(新築、増改築等は対象となりません)。

○公共下水道接続促進事業補助金

公共下水道処理区域内で、既設の浄化槽を改造し、公共下水道へ接続するための排水設備工事を行うものに対し、補助金を交付します(新築、農業集落排水は対象となりません)。

※詳細につきましては、お気軽にご相談ください。



check!

とんぼの幼虫(やご)が生息できるきれいな水質を保つように、とんぼが四方八方に飛びたつ様子を図案化したマンホールのふたです。

5 安全安心な協働のまち

150

継続

・豊見城市防災情報システム機能強化整備事業(総務課)

R7年度 723万円 (財源:市 723万円)

R6年度 1,649万円

何のために？

災害・緊急時等の情報伝達を適切に行えるようにするため、防災情報システムの基本設計を行い、更新時期を迎えている防災情報システム及び機器の機能強化を図ります。

151

継続

・市町村支援事業[市町村特定処理](総務課)

R7年度 773万円
(財源:県 734万円、市 39万円)

R6年度 704万円



瀬長島不発弾処理施設設置写真

何のために？

発見された不発弾等を安全に処理するため、処理場の設置、避難場所の確保などを行います。

152

継続

・給与関係事務業務委託(人事課)

R7年度 2,255万円 (財源:市 2,255万円)

R6年度 2,244万円

何のために？

職員、会計年度任用職員等の給与及び福利厚生等に係る事務を外部委託し、安定的かつ効率的な給与事務等を行います。

5 安全安心な協働のまち

153 継続

・人事評価制度支援業務(人事課)

R7年度 100万円 (財源:市 100万円)

R6年度 160万円

何のために？

地方公務員法の規定に基づき、能力・実績に基づく人事管理の徹底や組織全体の士気高揚、公務能率の向上を目的に、人事評価制度を実施しています。また、人事評価制度を円滑に運用するため、職員等を対象とした研修も実施しています。

154 継続

・特別職の給与など(人事課)

R7年度 2億3,054万円

R6年度 2億3,898万円

長等とは	市長、副市長、教育長
議員とは	市議会議員
その他特別職とは	委員会、審査会、審議会、調査会の委員など

(単位:千円)

会計	区分	職員数	給与費	共済費	合計	1名当たり
一般会計	長等	3	34,171	7,327	41,498	13,832
	議員	21	126,431	27,606	154,037	7,335
	その他の特別職	661	34,862	0	34,862	52
国民健康保険特別会計	その他の特別職	6	150	0	150	25
合 計		691	195,614	34,933	230,547	333

155 継続

・職員の給与など(人事課)

R7年度 35億4,626万円

R6年度 33億3,459万円

(単位:千円)

会計	職員数	給与費	共済費	合計	平均年齢 (一般行政職)	1名当たり
一般会計	450	2,651,927	571,518	3,223,445	39.7歳	7,163
国民健康保険特別会計	19	105,876	22,591	128,467	38.8歳	6,761
下水道事業会計	8	48,057	9,972	58,029	39.2歳	7,253
水道事業会計	17	114,039	22,284	136,323	44.0歳	8,019
合 計	494	2,919,899	626,365	3,546,264	39.8歳	7,178

※上記の金額には、普通建設事業の中で計上された人件費も含まれています。

※表示単位未満は端数処理により表示しているため、各項目の計と内訳が一致しないところがあります。

5 安全安心な協働のまち

156

継続

・職員研修の実施(人事課)

R7年度 205万円 (財源:市 135万円、その他70万円)

R6年度 214万円

何のために？

多様な行政ニーズに応えるため、職員研修を行います。知識や技能を習得し、時代の変化に対応できる職員の育成や意識改革に努めます。

令和7年度 職員研修計画(予定)

区分	研修名	期間	人数
一般研修	新採用職員研修	2日	24人
	管理者研修	1日	2人
	一般職員第1部研修	1日	3人
	監督者第1、2部研修	2日	5人
	クレーム対応研修	2日	7人
	ハードクレーム対応研修	1日	7人
	法制執務研修	2日	2人
	評価者研修	1日	4人
	民法講座	3日	5人
	行政法講座	2日	3人
	政策法務研修	2日	3人
	公会計研修	1日	3人
	部下力研修	1日	3人
	わかりやすい資料づくり	1日	3人
	説明・交渉力研修	2日	5人
	成果の出る会議の進め方講座	1日	3人
	ロジカルコミュニケーション研修	1日	4人
	自治体の採用試験面接官研修	1日	5人
	メンタルヘルス研修	1日	5人
	業務改善(タイムマネジメント)研修	1日	2人
	歴史文化講座	1日	2人
	じぶんワークビス講座	1日	2人
	DX研修	1日	8人
県外研修	市町村アカデミー、国際文化アカデミー	3~11日	15人
職場内	新採用職員研修	3日	28人
	管理職・一般職員研修	半日	310人

5 安全安心な協働のまち

157

継続

・標準準拠システム移行事業(デジタル推進課)

R7年度 1億3,980万円 (財源:国 1億3,980万円)

R6年度 739万円

何のために？

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づき、令和7年度までに基幹業務20業務について、国が示す標準仕様に適合したシステム(標準準拠システム)へ移行を行い、市民の利便性の向上及び行政運営の効率化を図ります。

158

継続

・庁舎内ネットワーク機器の運用保守及び更新事業(デジタル推進課)

R7年度 621万円 (財源:市 621万円)

R6年度 1,245万円

何のために？

庁舎内ネットワーク機器を更改・保守することにより、システムの安定運用及び業務効率化を図ります。

159

継続

・豊見城市生成AIサービス運用業務(デジタル推進課)

R7年度 71万円 (財源:市 71万円)

R6年度 92万円

何のために？

生成AIサービスを活用し、豊見城市における業務効率化や課題解決の促進及び行政DXの推進を図ります。

5 安全安心な協働のまち

160

継続

- ・ 企業版ふるさと納税推進業務（商工観光課）

R7年度 22万円（財源：市 22万円）

R6年度 116万円

何のために？

事業者の知見を活かしたマッチングサポートにより、企業版ふるさと納税を企業から寄附として効果的に募ります。

161

新規

- ・ 国勢調査（企画調整課）



R7年度 3,906万円
（財源：県 3,255万円、市 651万円）
R6年度 —

何のために？

国勢調査は、日本に住んでいるすべての人と世帯を対象とした最も重要な統計調査です。統計法に定める基幹統計調査として、5年に1度行われます。調査の結果は、行政や民間企業、研究機関等の様々な分野で幅広く活用されています。

162

新規

- ・ 第5次豊見城市総合計画後期基本計画及び
（仮称）豊見城市デジタル田園都市構想総合戦略策定支援業務（企画調整課）

R7年度 1,535万円（財源：市1,535万円）

R6年度 —

何のために？

本市が目指すまちづくりの実現に向け必要な施策や目標指標を見直し、新たにデジタル関連の取組を取り入れた後期基本計画及び次期総合戦略を策定します。

5 安全安心な協働のまち

163 継続

- ・ 証明書コンビニ交付システム更新業務（市民課）

R7年度 1,338万円（財源：市1,338万円）

R6年度 —



何のために？

全国のコンビニエンスストアにて市が発行する証明書（住民票の写し、印鑑登録証明書等）を取得できるコンビニ交付サービスのシステム更新を行います。

164 継続

- ・ 戸籍事務システム標準化に係る事業（市民課）

R7年度 2,909万円（財源：国 1,917万円、市 992万円）

R6年度 747万円

何のために？

戸籍事務システムの標準化に伴うシステムのクラウド化を行います。法改正等（システム連携等）や国の方針によるシステム改修の迅速化を目的としています。

165 継続

- ・ 窓口等業務委託（市民課・国民健康保険課・総務課）

R7年度 8,047万円（財源：市 7,194万円、特別会計分国民健康保険 853万円）

R6年度 8,047万円

何のために？

市民課業務、国民健康保険業務、総合案内業務等の一部を専門的知識、技術、経験を有する民間事業者に委託し、市民サービスの更なる向上及び効率的な行政運営を図ります。

5 安全安心な協働のまち

166

継続

・国民年金事務（市民課）

R7年度 887万円（財源：国415万円、市472万円）

R6年度 743万円

何のために？

日本年金機構と協力・連携し、国民年金法や事務処理基準に定められた法定受託事務を行う。市民から国民年金に関する相談受付や加入手続き、国民年金の請求及び保険料免除などを年金事務所と連携し、適切な案内や回答を行います。

167

継続

・沖縄県消防通信指令施設事業（消防総務課）

R7年度 1,198万円
（財源：市1,198万円）

R6年度 1,246万円

何のために？

沖縄県消防指令センター（県内16消防本部及び12非常備町村が参画）を運用するための事業負担金となります。



168

継続

・沖縄県消防指令センター全体更新整備事業（消防総務課）

R7年度 1億4,031万円
（財源：市1億4,031万円（うち借金1億3,890万円））

R6年度 9,507万円

何のために？

沖縄県消防指令センター全体更新整備事業（共同・個別整備機器、設計管理費、備品購入費及び消防救急デジタル無線整備事業）に係る負担金となります。



5 安全安心な協働のまち

169 新規

- ・全国瞬時警報システム整備事業（消防総務課）

R7年度 352万円
（財源：市352万円（うち借金350万円））

R6年度 —



何のために？

設置から10年が経過し経年連化した現システムを新型のシステムに更新整備することで緊急情報を瞬時に市民等に伝達し、速やかな避難を促すことで市民の生命・身体 の保護につなげます。

170 継続

- ・消防水利設置事業（消防本部警防課）

R7年度 1,172万円
（財源：市1,172万円（うち借金1,170万円））

R6年度 1,279万円



何のために？

市内一円に火災等の災害時に有効な水利が確保できるように消火栓を設置します。

171 新規

- ・災害対応ドローン整備事業（消防本部警防課）

R7年度 364万円
（財源：市364万円（うち借金360万円））

R6年度 —



何のために？

各種災害において俯瞰的な視点からの情報手段として、小型無人航空機「ドローン」を整備します。

5 安全安心な協働のまち

172 継続

・救急安心センター事業（消防本部警防課）

R7年度 43万円
（財源：市 43万円）
R6年度 60万円

何のために？

「#7119」の利用を多くの市民へ周知し救急車の適正利用に繋がるように取り組んでいます。



173 継続

・防火意識の啓発（消防本部予防課）

R7年度 55万円
（財源：市 55万円）
R6年度 55万円

何のために？

防火意識の普及・啓発を図るため、防火委員会（女性防火防災クラブ・幼年消防クラブ）活動に補助を行います。



174 継続

・自治会活動の推進（協働のまち推進課）

R7年度 1,513万円 （財源：市 1,513万円）
R6年度 1,364万円

何のために？

各自治会の活動を推進するため、自治会が自主的に行う事業に対し支援することに加え、地域における子どもの活動支援等を通して、コミュニティの振興を図ります。

5 安全安心な協働のまち

175 継続

・「広報とみぐすく」の発行(秘書広報課)

R7年度 2,302万円
(財源:市 2,037万円、国 11万円、その他 254万円)
R6年度 2,274万円



何のために？

行政情報や身近な話題などの情報をわかりやすく紹介し、市内全世帯へ配布します。
(毎月1日前後発行)

176 継続

・豊見城市広報番組の放送委託(秘書広報課)

R7年度 86万円 (財源:市 86万円)
R6年度 86万円

何のために？

コミュニティ放送局(FMとよみ)を通して、市の情報を市民へ提供します。

177 継続

・収納OCRデータ処理委託業務(納税課・国民健康保険課・保育こども園課・教育総務課)

R7年度 690万円 (財源:市 690万円)
R6年度 858万円

何のために？

各金融機関において納付した市税等の収納済通知書について、収納情報を電子データ化することで事務の効率化と人的ミスの防止を図ります。

(R7予算内訳)

納税課570.1万円 国民健康保険課109.45万円 保育こども園課9.7万円 教育総務課0.3万円

5 安全安心な協働のまち

178

継続

・コンビニエンスストア収納代行委託料（納税課）

R7年度 567万円 （財源：市 567万円）

R6年度 491万円

何のために？

市税等の納付について、市民の利便性向上及び納付機会の拡充を目的として全国の主なコンビニエンスストアとスマホ決済アプリで24時間どこでも納付できるようにします。

179

継続

・議会インターネット映像配信事業（議会事務局）

R7年度 162万円 （財源：市 162万円）

R6年度 162万円

何のために？

市議会本会議の様態をインターネットで中継及び録画配信を行うことにより、開かれた議会の実現を図ります。

180

継続

・会議録の作成及び公表（議会事務局）

R7年度 486万円 （財源：市 486万円）

R6年度 486万円

何のために？

議会の内容を全て記録し、審議経過や結果をまとめた公文書を作成します。

5 安全安心な協働のまち

181

継続

- ・「議会だより」の発行（議会事務局）

R7年度 670万円 （財源：市591万円、その他79万円）

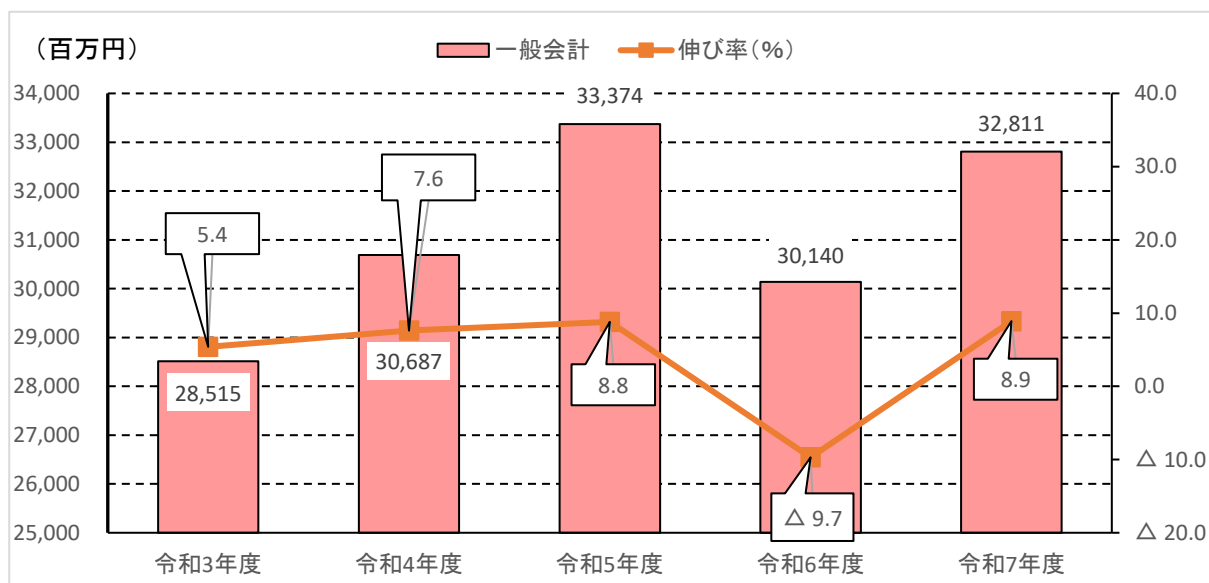
R6年度 648万円

何のために？

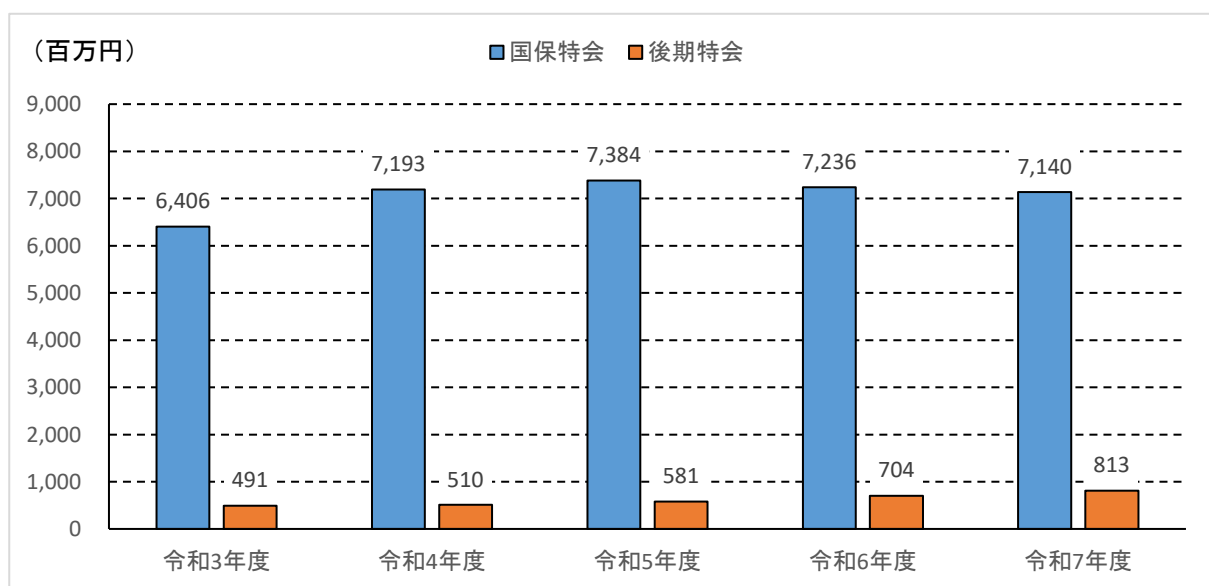
議会の審議内容や活動を、市民にお知らせするために、「議会だより」を年4回発行します。

予算の動き(当初予算)

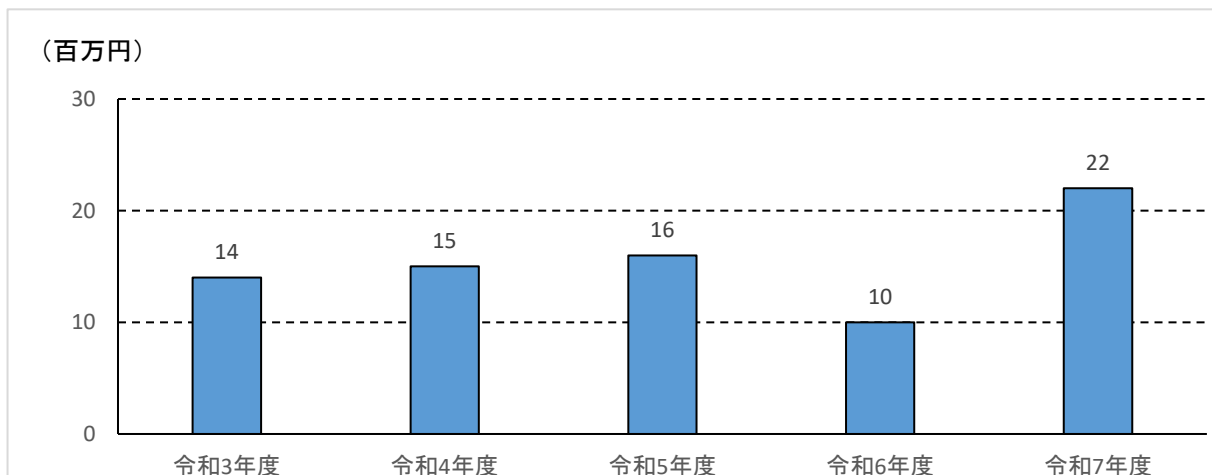
(1) 一般会計の当初予算額の推移



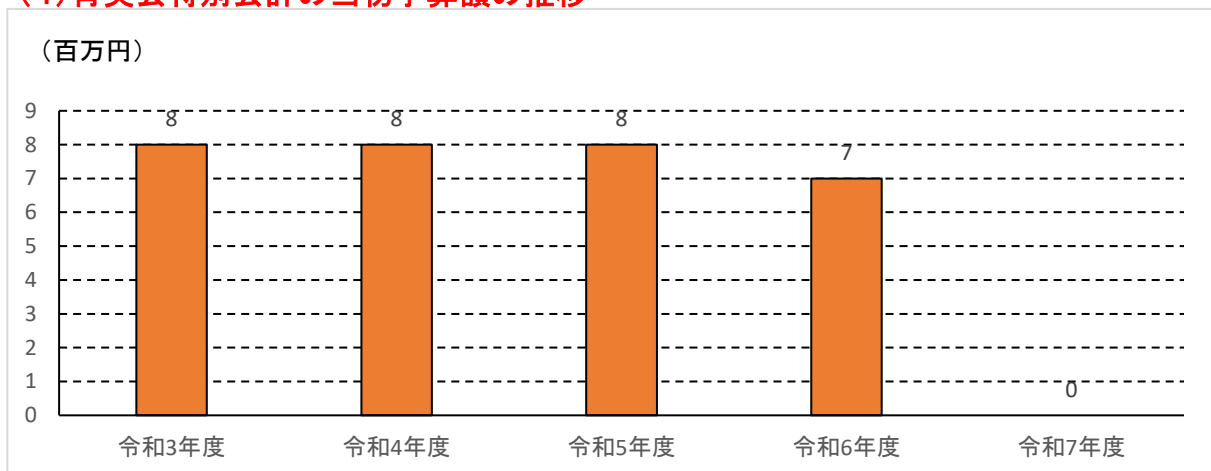
(2) 国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の当初予算額の推移



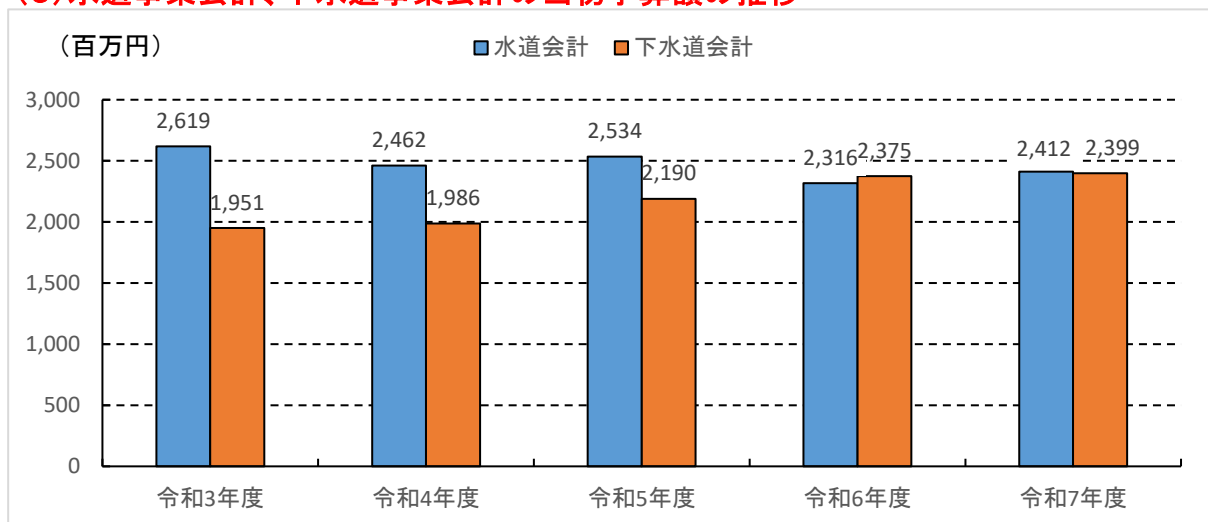
(3) 公営基地事業特別会計の当初予算額の推移



(4) 育英会特別会計の当初予算額の推移



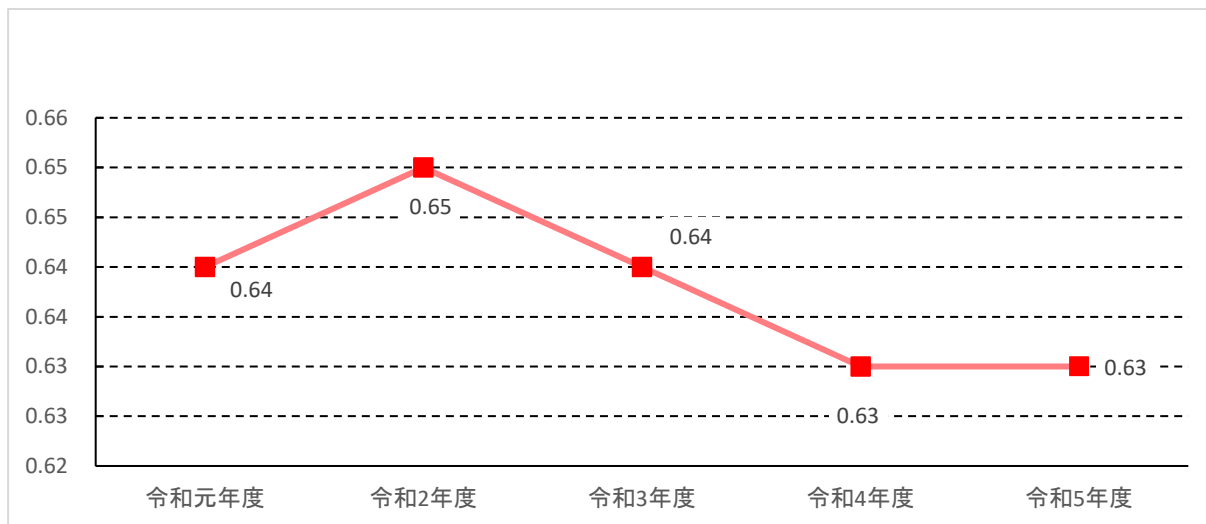
(5) 水道事業会計、下水道事業会計の当初予算額の推移



※ 令和元年度より下水道事業特別会計と農業集落排水事業特別会計は、公営企業会計へ移行

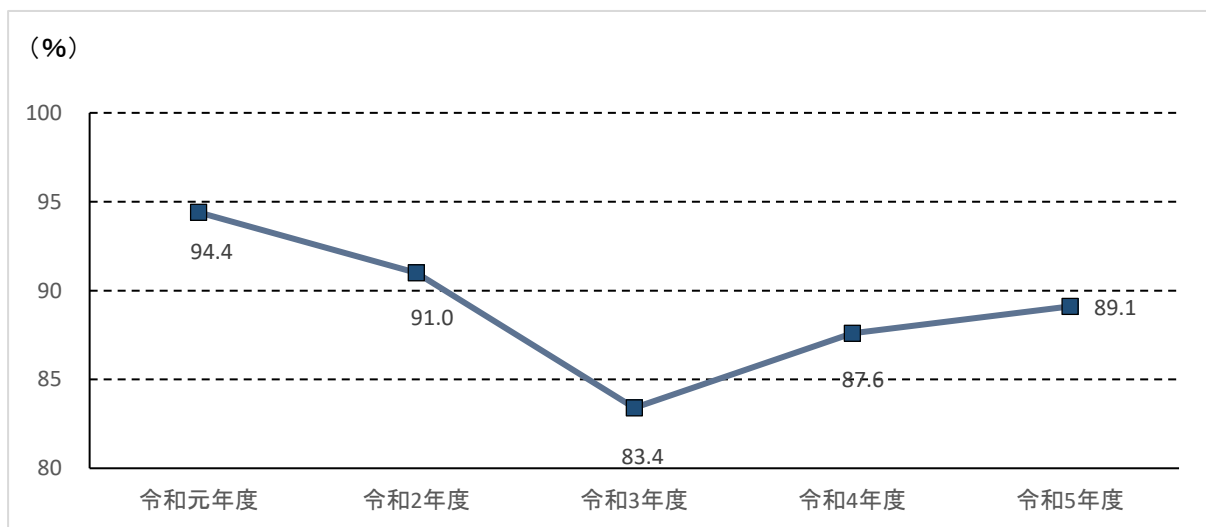
財政力(決算ベース)

自治体の財政状況を表す指標を「財政力指数」といいます。これは、市が標準的な行政事務の執行をする費用のうち、自主的に調達できる財源(市の税金や使用料手数料)が65%であることを示す数字です。不足する分は、国、県に依存して調達しています。この指数が「1=100%」を超える市町村には国からの普通交付税が交付されません。また、指数が「1」に近い団体ほど行政に使えるお金に余裕があることになります。



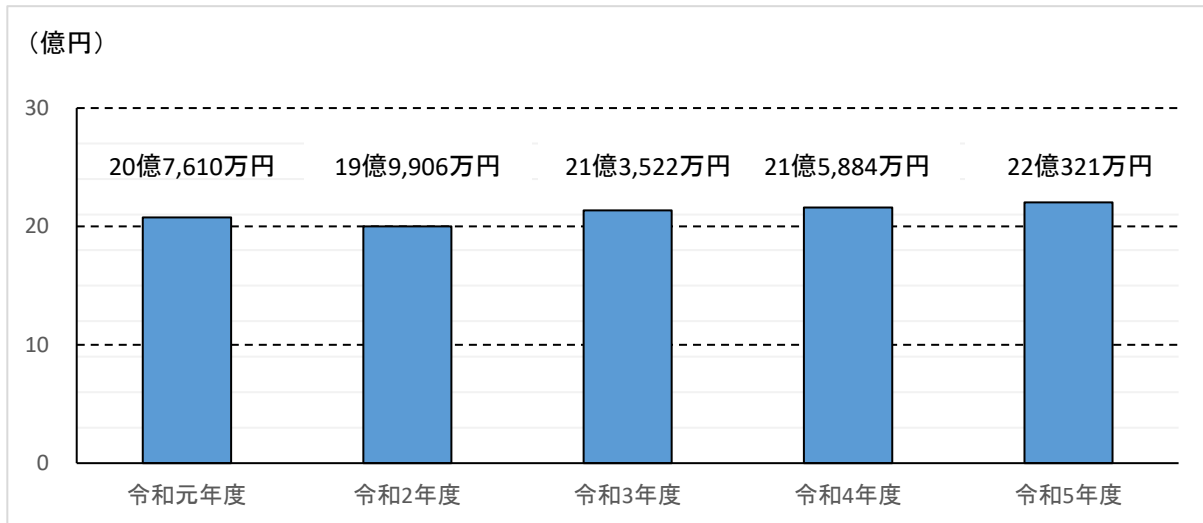
財政の弾力性(決算ベース)

自治体の財政の弾力性を表す指標を「経常収支比率」といいます。これは、毎年決まって出ていく費用(人件費や施設の維持費など削減することが難しい経費)に、毎年決まって入ってくる収入(地方税や地方交付税などの安定的な収入)が、どの程度充当されているのかを見る割合の指標です。この指数が、高い団体ほど新たなニーズに対応できる余地が少なくなり、財政は硬直化していることになります。



公債費(決算ベース)

公債費とは、市の借金(市債)の返済のために必要な経費。人件費などと同様に削減が難しい経費となります。

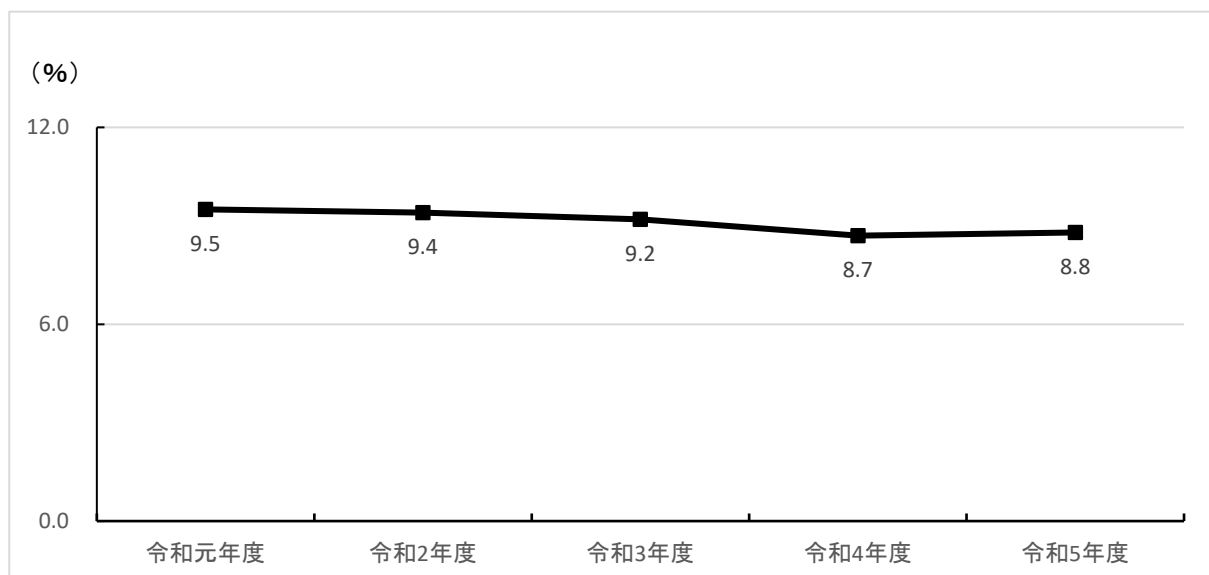


実質公債費比率(決算ベース)

平成18年4月1日より、財政状況が健全な地方公共団体は、地方債(借金)を発行する際に、総務大臣または都道府県知事の許可がなくとも地方公共団体の長が、あらかじめ議会に報告をすれば、地方債を発行できることとなりました。

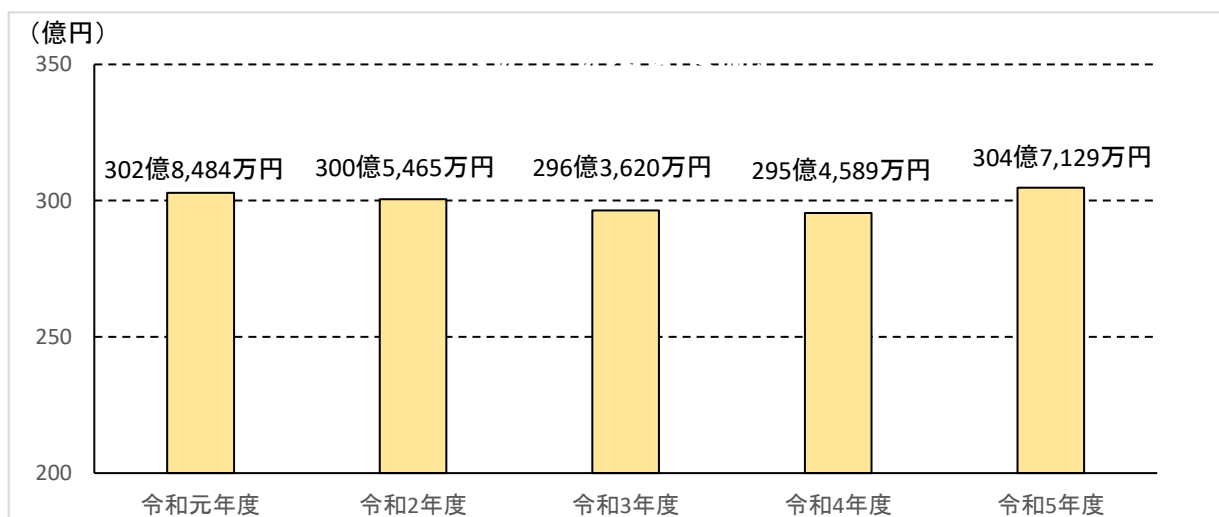
このため、市の収入(市税や地方交付税等)に対して、市の公債費(借金の返済)がどのくらいの比率になるのかを表して借金の制限を行うものが、実質公債費比率といいます。

国の基準では、「18%以上」になると借金をする際に引き続き県の許可が必要となり、「25%以上」になると一定の地方債の起債が制限され、「35%以上」になると、さらにその割合が高まります。



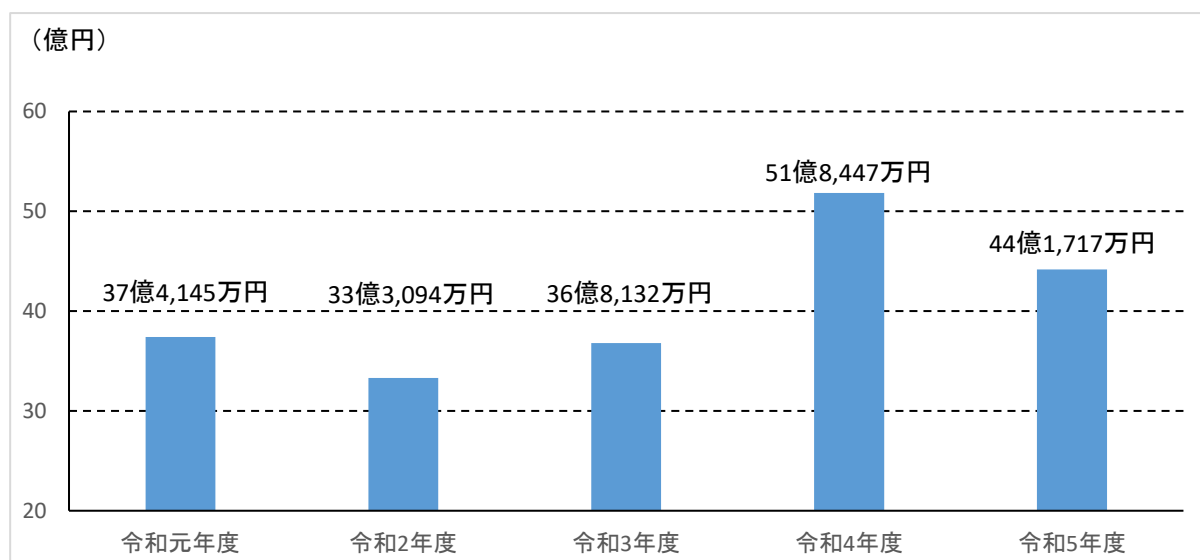
市債残高(決算ベース)

地方債残高とは公共施設や道路、学校などの整備に充てた借入金である地方債の残高で、市の地方債残高を市債残高といいます。主に財務省などの公的資金や銀行等の金融機関から借り入れを行っています。



基金の動き(決算ベース)

財政は、経済情勢の変化等による大幅な税収の落ち込みや災害などの発生による思わぬ支出の増加を余儀なくされます。このような収入減や不測の支出増に備えて、財源に余裕のある年度に積立(貯金)をします。



市が単独で交付している補助金 ①

(単位:千円)

款	項	目	補助金名称	令和7年度	令和6年度	比較
議会事務局						
1	1	1	政務活動費補助金	2,520	2,640	△ 120
総務課						
2	1	9	自主防災組織支援補助金	770	790	△ 20
2	1	9	自治会放送施設整備事業補助金	785	890	△ 105
商工観光課						
5	1	1	高齢者就業機会確保事業補助金	12,500	11,870	630
7	1	2	市商工会育成補助金	9,200	8,600	600
7	1	3	市観光協会補助金	18,452	18,452	0
協働のまち推進課						
2	1	7	市民団体活動支援事業補助金	900	900	0
2	1	7	自治会等まちづくり支援補助金	15,129	13,643	1,486
2	1	7	自治会長会視察研修補助金	120	120	0
2	1	8	市交通安全母の会補助金	200	200	0
2	1	8	市交通安全推進協議会補助金	1,049	1,049	0
3	1	1	更生保護女性会補助金	75	75	0
環境課						
4	2	2	生ごみ自己処理奨励金補助金	776	741	35
社会福祉課						
3	1	1	遺族会補助金	157	157	0
3	1	1	民生児童員連合会補助金	8,660	8,660	0
3	1	1	社会福祉協議会補助金	68,842	60,125	8,717
子育て支援課						
3	1	1	子ども食堂スタートアップ支援補助金	600	0	600
障がい長寿課						
3	1	3	市手をつなぐ育成会補助金	324	324	0
3	1	3	市身体障害者福祉協会補助金	392	392	0
3	1	4	市老人クラブ補助金	799	841	△ 42
3	1	4	市老人クラブ連合会補助金	906	909	△ 3
こども応援課						
3	2	1	豊見城市ひとり親福祉会補助金	0	150	△ 150
保育こども園課						
3	2	2	クリーンアドベンチャー補助金	85	85	0
3	2	2	保育教材費補助金	155	217	△ 62
3	2	2	認証保育園事業費補助金	1,128	1,128	0
3	2	2	認証保育園運営費補助金	4,152	4,152	0
都市計画課						
2	1	8	市内一周バス運営補助金	8,042	6,770	1,272
農林水産課						
6	1	2	農業共済加入促進対策補助金	610	665	△ 55
6	1	3	市熱帯果樹奨励補助金	1,268	786	482
6	1	3	市野菜振興推進協議会補助金	120	120	0
6	1	3	市さとうきび生産振興対策協議会補助金	868	868	0
6	1	3	市農業用水対策施設補助金	540	900	△ 360
6	1	4	市畜産共進会実行委員会補助金	300	300	0
6	1	4	南部地区和牛改良組合豊見城支部補助金	50	50	0
6	3	1	漁協与根支部育成補助金	270	270	0
6	3	1	漁協瀬長支部育成補助金	270	270	0

市が単独で交付している補助金 ②

(単位:千円)

款	項	目	補助金名称	令和7年度	令和6年度	比較
消防本部予防課						
9	1	2	市防火委員会補助金	551	551	0
生涯学習振興課						
10	5	1	市青少年市民会議補助金	700	700	0
10	5	1	市子ども会育成連絡協議会補助金	929	929	0
10	5	1	市少年平和大使補助金	555	373	182
10	5	1	子ども会県外研修補助金	2,183	2,315	△ 132
10	5	1	市PTA連合会補助金	373	373	0
10	5	1	子ども会宮崎県美郷町北郷地区受入事業補助金	836	835	1
10	5	1	市女性会補助金	713	713	0
10	5	1	はたちの集い実行委員会補助金	600	300	300
10	5	1	ジュニアリーダー補助金	79	79	0
10	6	1	市スポーツ少年団補助金	854	1,420	△ 566
10	6	1	市体育協会補助金	11,773	10,595	1,178
文化課						
10	5	4	市文化協会補助金	1,388	1,388	0